

PETIT COMICS
MOTO HAGIO

15

萩尾望都作品集

モザイク・ラセン

SHOGAKUKAN



PETIT COMICS

萩尾望都作品集

15モザイク・ラセン

小学館
PC-035

MOTO HAGIO

PETIT COMICS



萩尾望都作品集

モザイク・ラセン

SHOGAKUKAN

砂漠の幻影
神祕の少女
フィジカル'85
ダクノボウ
ビートルズのころ

雑誌 45910-35

ISBN4-09-178035-0 C0379 ¥580E 定価560円



萩尾望都作品集
モザイク・ラセン

15

C	O	N	T	E	N	T	S
		ビートルズのころ					211
		デクノボウ					195
		フィジカルノ'85					179
		神殿の少女					175
		砂漠の幻影					171
		モザイク・ラセン					3







モザイク・ラセン

はじめて
彼の夢を
見たのは

8つの
ときだつた

あたしは
白い鳥になり
飛んでいる

谷間に
さしかかると
黒い鳥がいる

だあれ？

だあれ？

……ミリディ

アーン……

へんだよ

ママの
小指が……

緑色
なんだ……

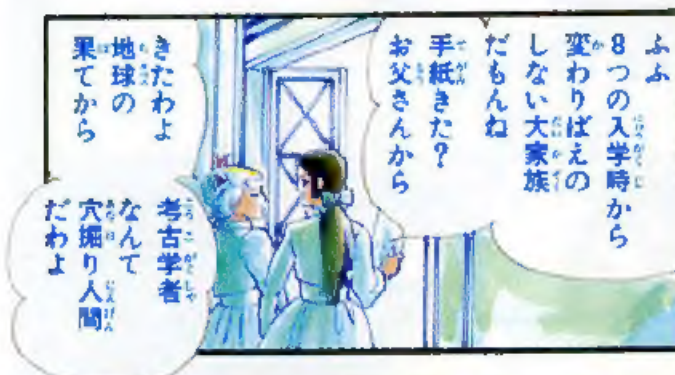
……かわいいよ……

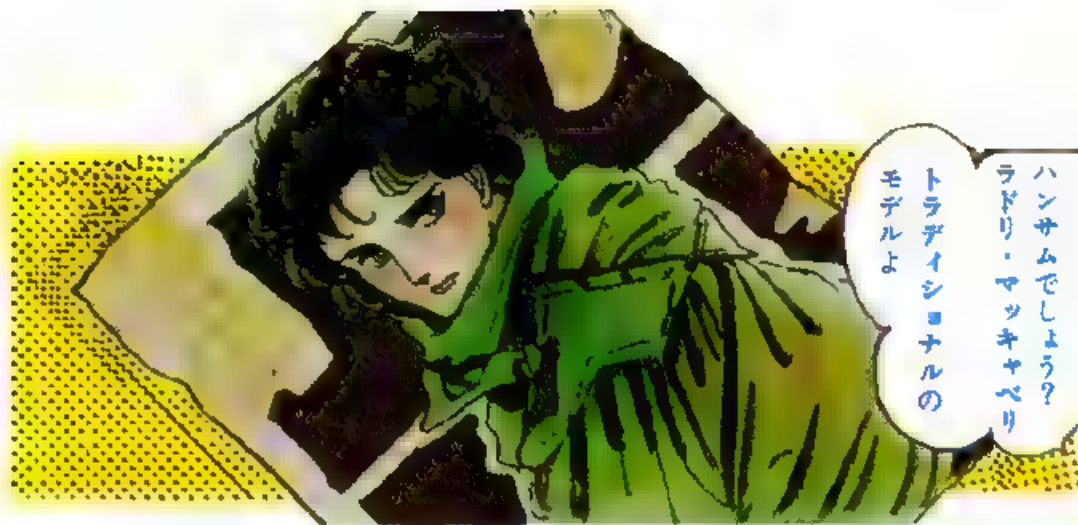
不安な
夢

夜ごとの
訪問者のように
あたしは
谷を訪れ

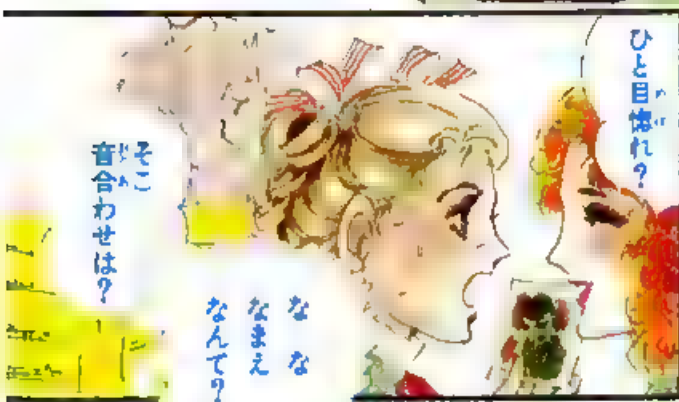
年月が
たつごとに
彼もあたしも
成長して
いった







ハンサムでしょう？
ラドリ・マツキャペリ
トラディショナルの
モデルよ



そこ
音合わせは？

なな
なまえ
なんて？



ガキねー
モデルなんて
ねーミラ...

まさか！



ラドリ・
マツキャペリ
だって

新顔の
モデルね
好み？
ミラも

好みも
なにも

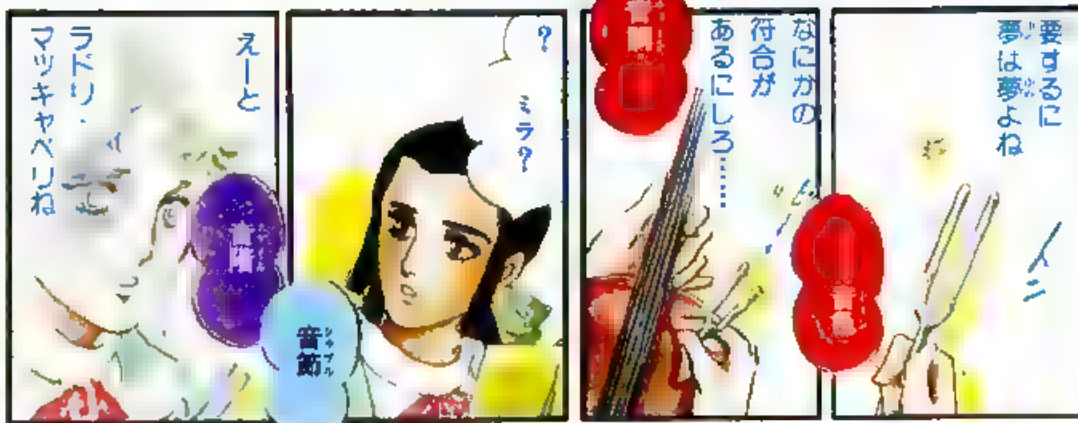


まてよ.....
似た顔つてのも
ありうる

それに
あの夢もう
三か月も
見てないわ
ふられたの
かも
しれないし

アホらしい
自分の夢に
ふられる
なんて

ラド.....
ラドリ・
マツキャペリね





ミリディオン

火事
火事だ！

ラトリ
逃げて！

早く
！！
ラトリ

かあ
……

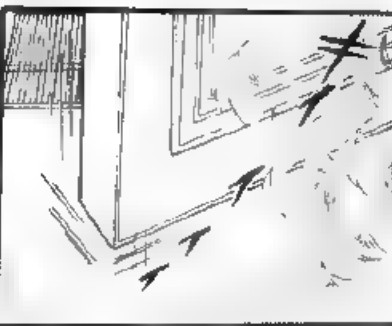


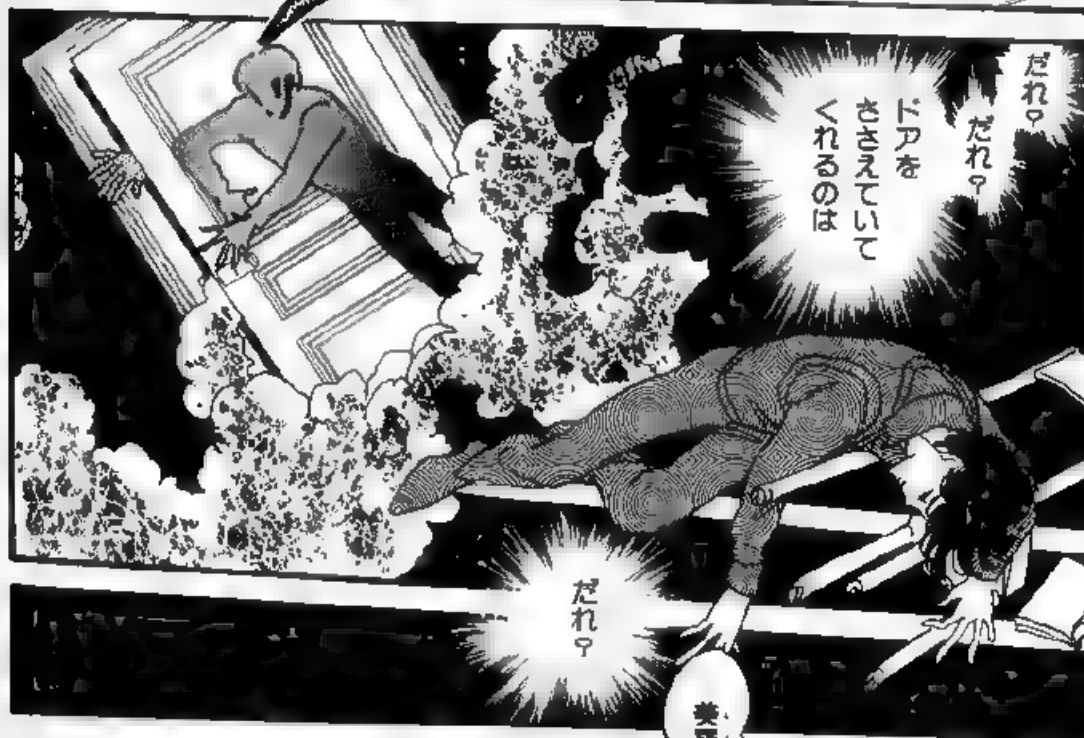
かあさん

——かあさん！

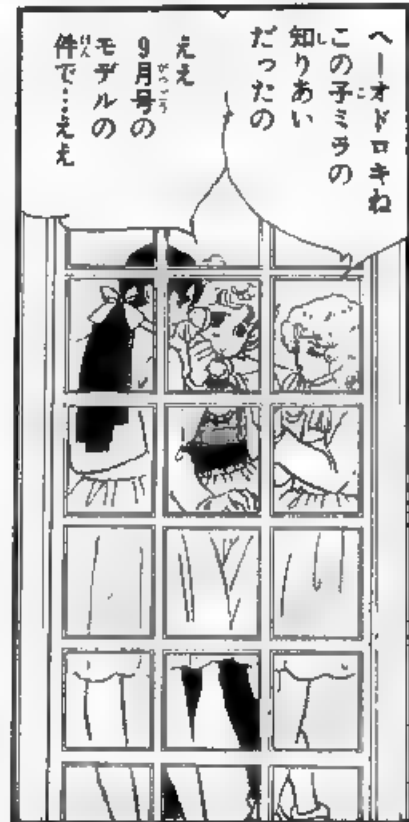
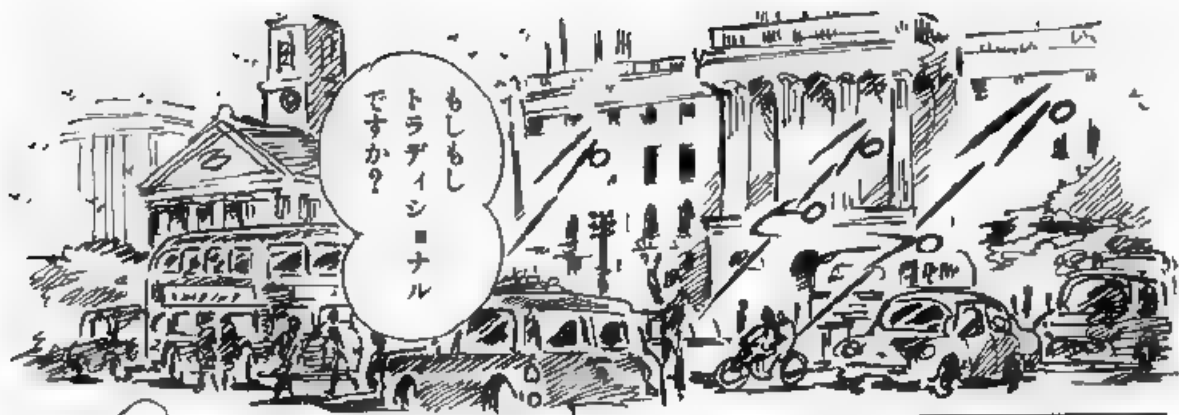
うわー

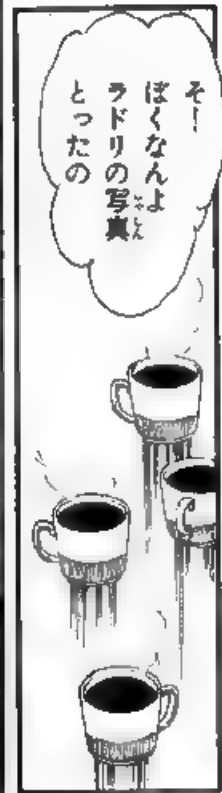












そー
ぼくなんよ
ラドリの写真
とったの



ピカデリーで
モデルさがしてる
ときめつけてね
オレの下宿に
一か月ぐらい
いたかな

でも本がでると
写真を見た両親が
むかえにきて
帰ってたよ

ホープにね



家出人
だったんよね
彼の両親で
ふつうの
両親?



そうよ
緑色は
ラドリにしか
見えなかつた
んだつたわ



それがさ
家出なら
写真でしたら
すぐバレるじゃん
そしたらね
ラドリは

……
両親が
くること
かくごして
たよ

だけど……うまく
いけば……
彼女が……ぼくを……
見つけるかも
しれないと思っただ



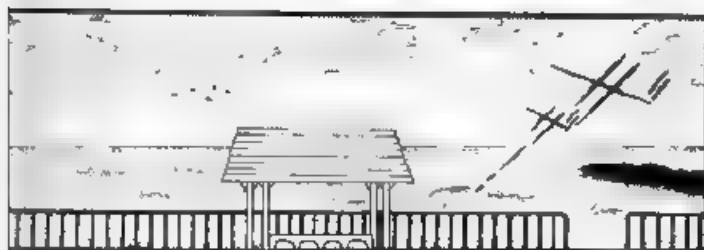
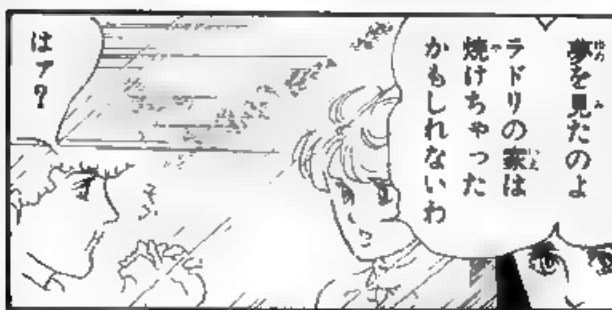
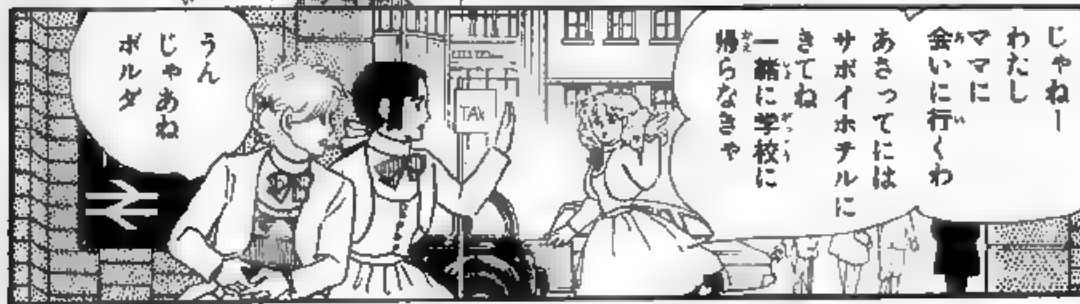
ミリディアン
……!?

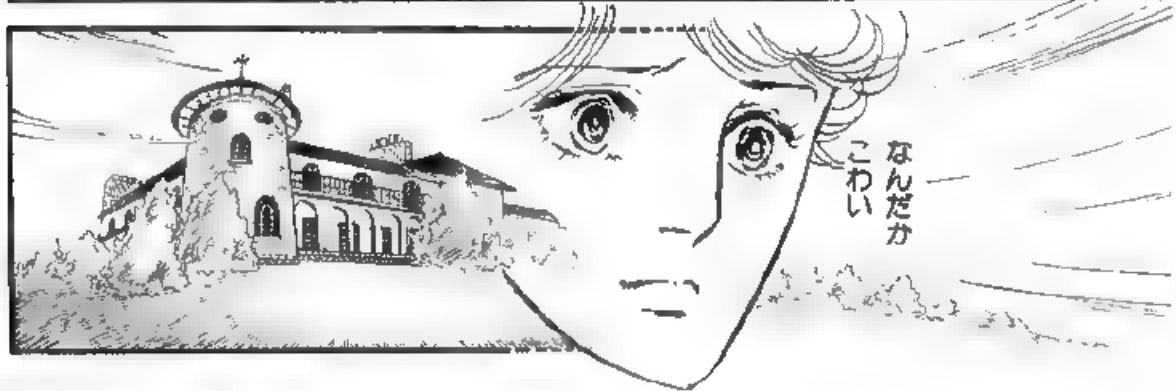
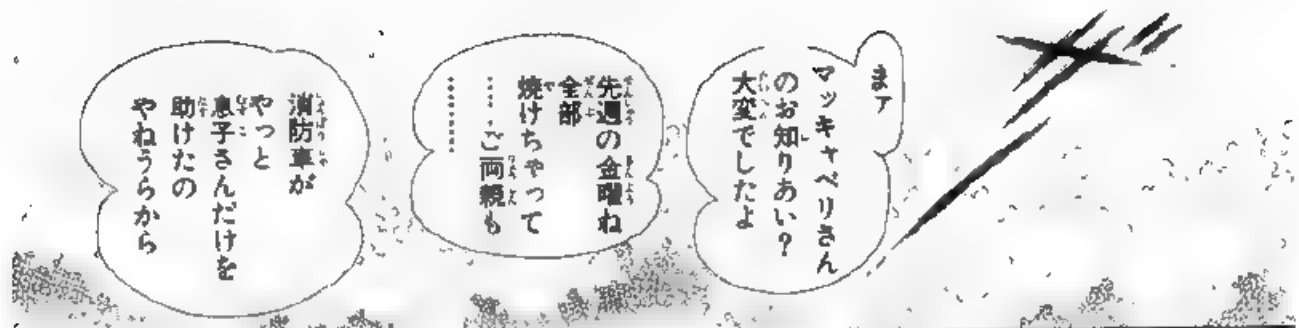


そーそー!
変な名前!
子午線なんて!
彼女って
きみのこと?
オレだれかくるか
なアくるかなアって
思ってたんだ!

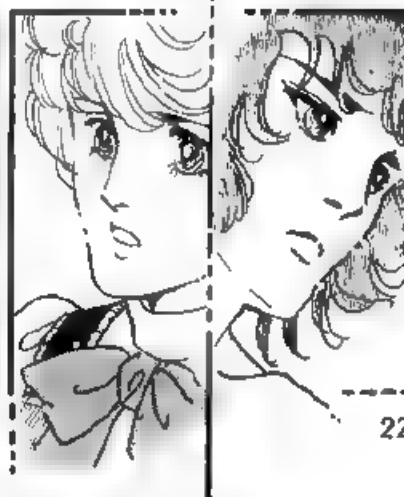
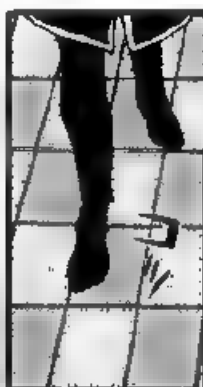


幼なじみか
なにか?
ミリディアン
……ええ





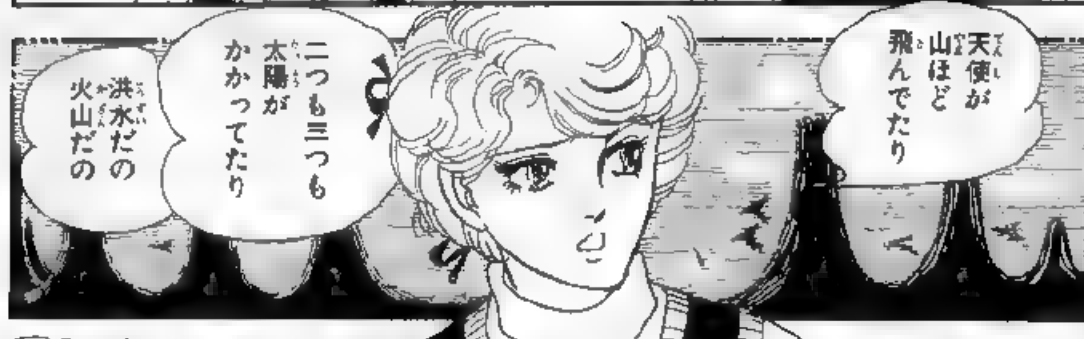








モザイク・ラセン





ラドリ



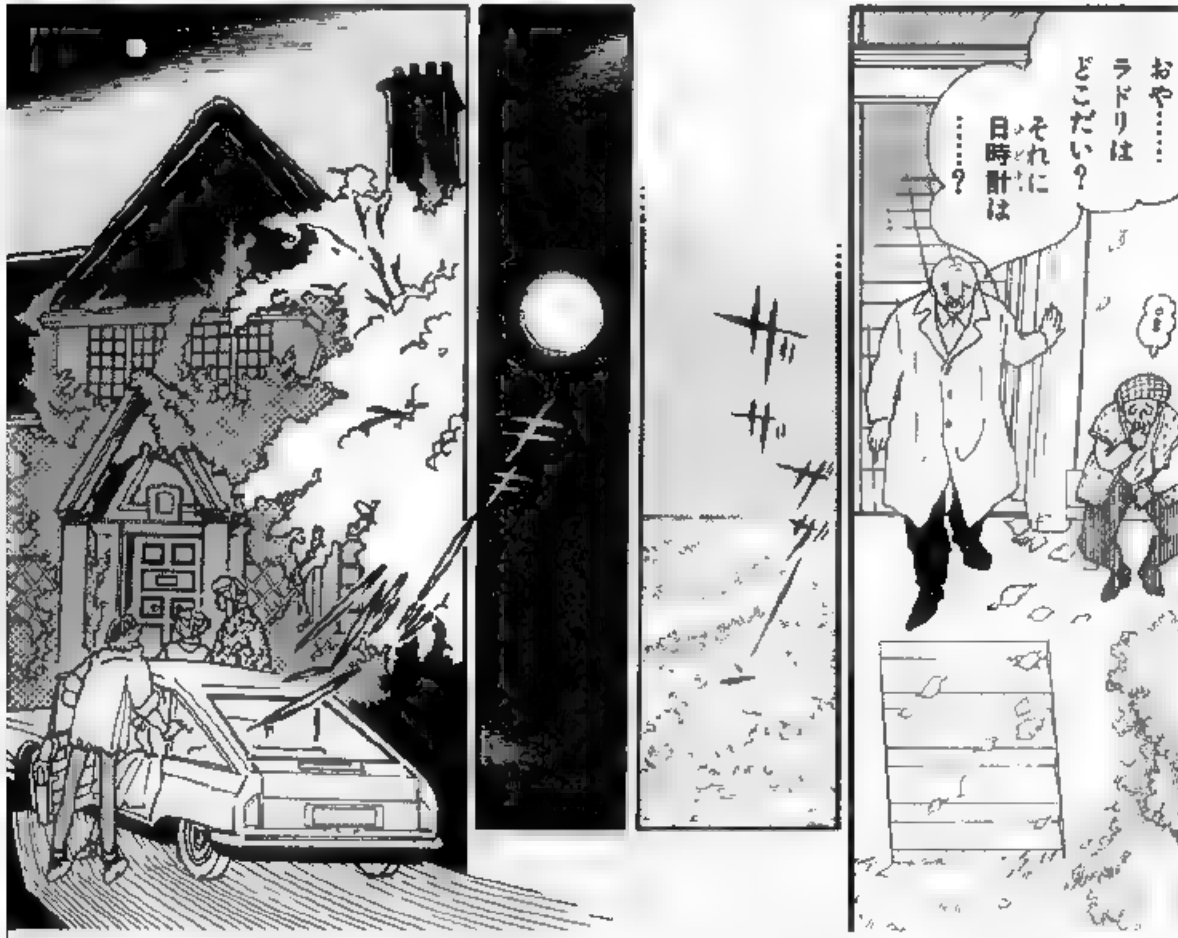
れを

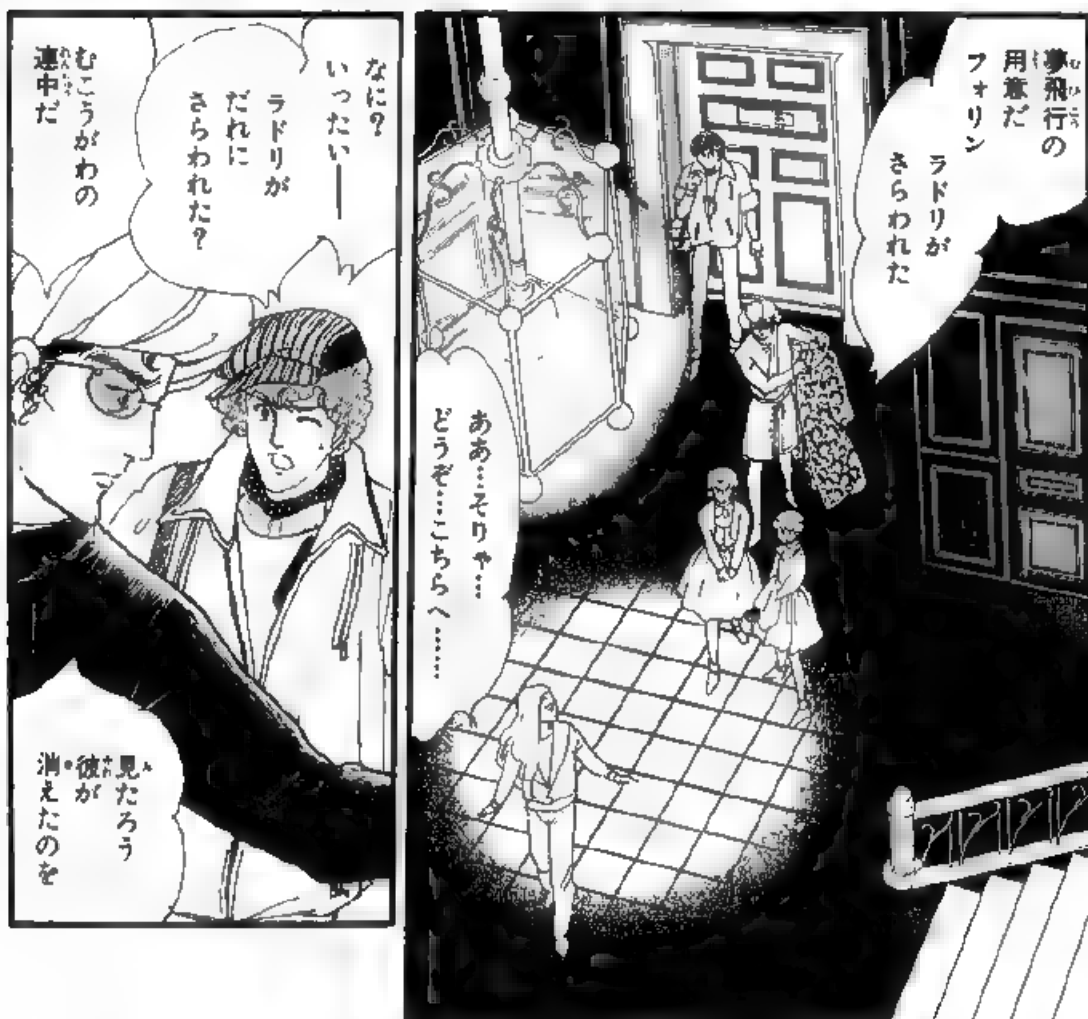




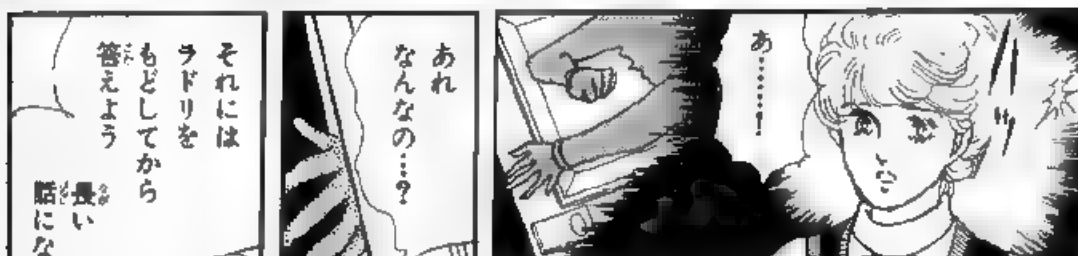


モザイク・ラセン





モザイク・ラセン

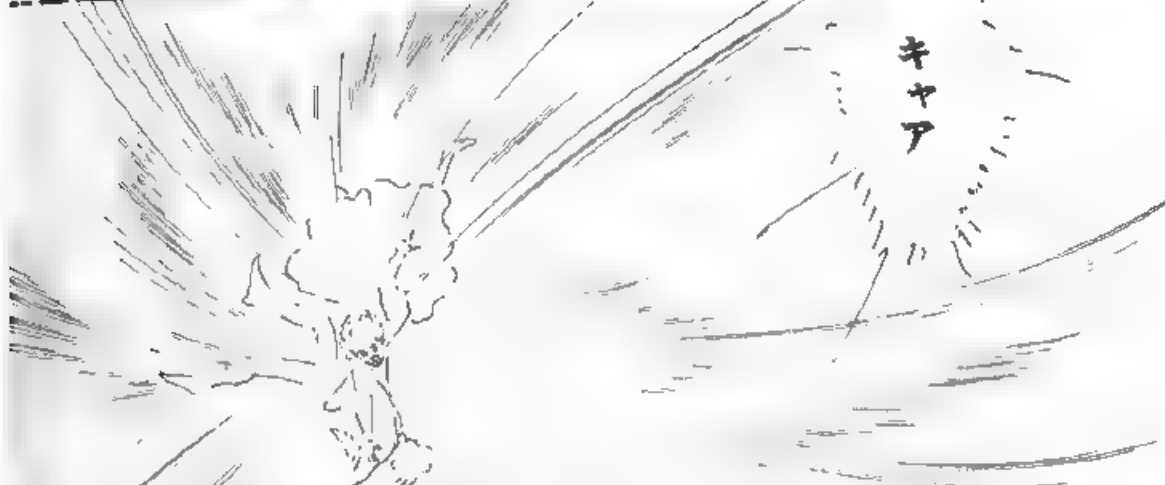




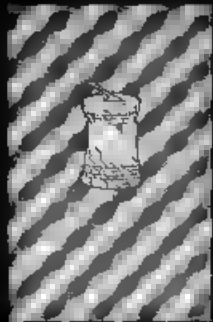




モザイク・ラセン







ラセンだ

ひきよせ
られる！

あれは
あの
ラセンは――

助けて
マニ・ハナ！

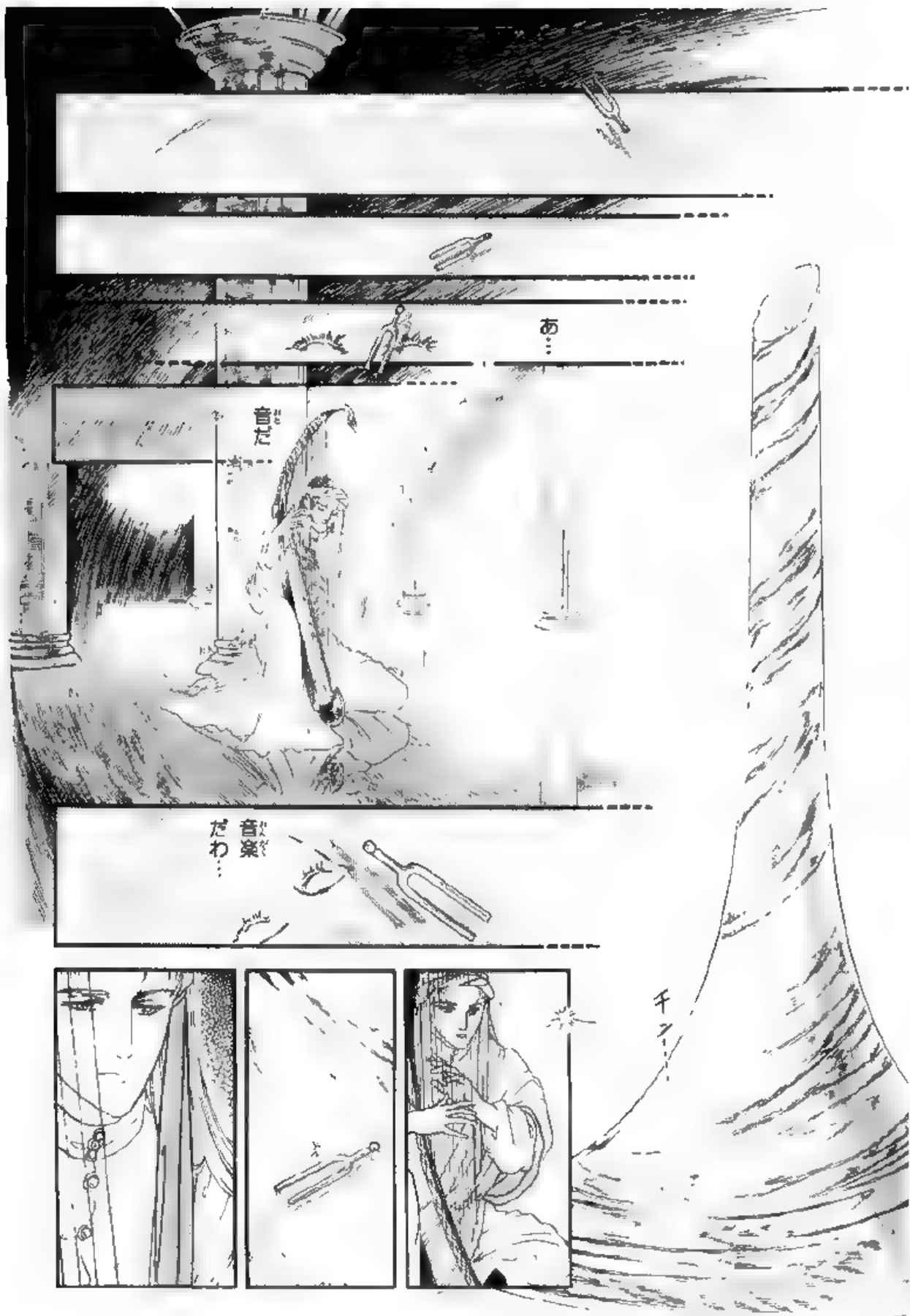
助けて
サマデ！

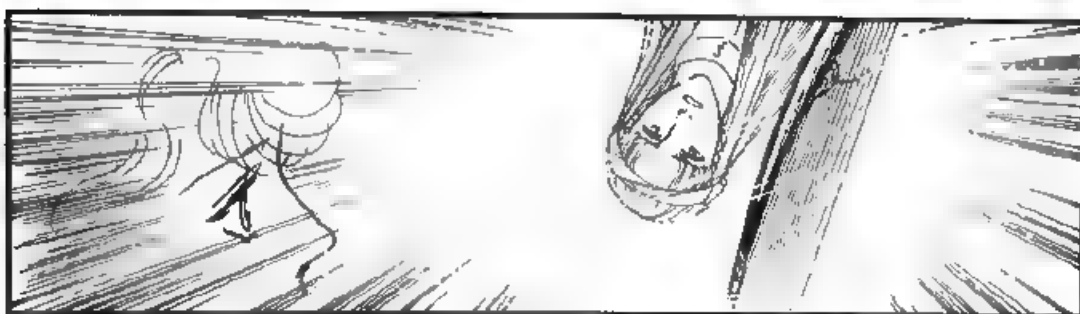
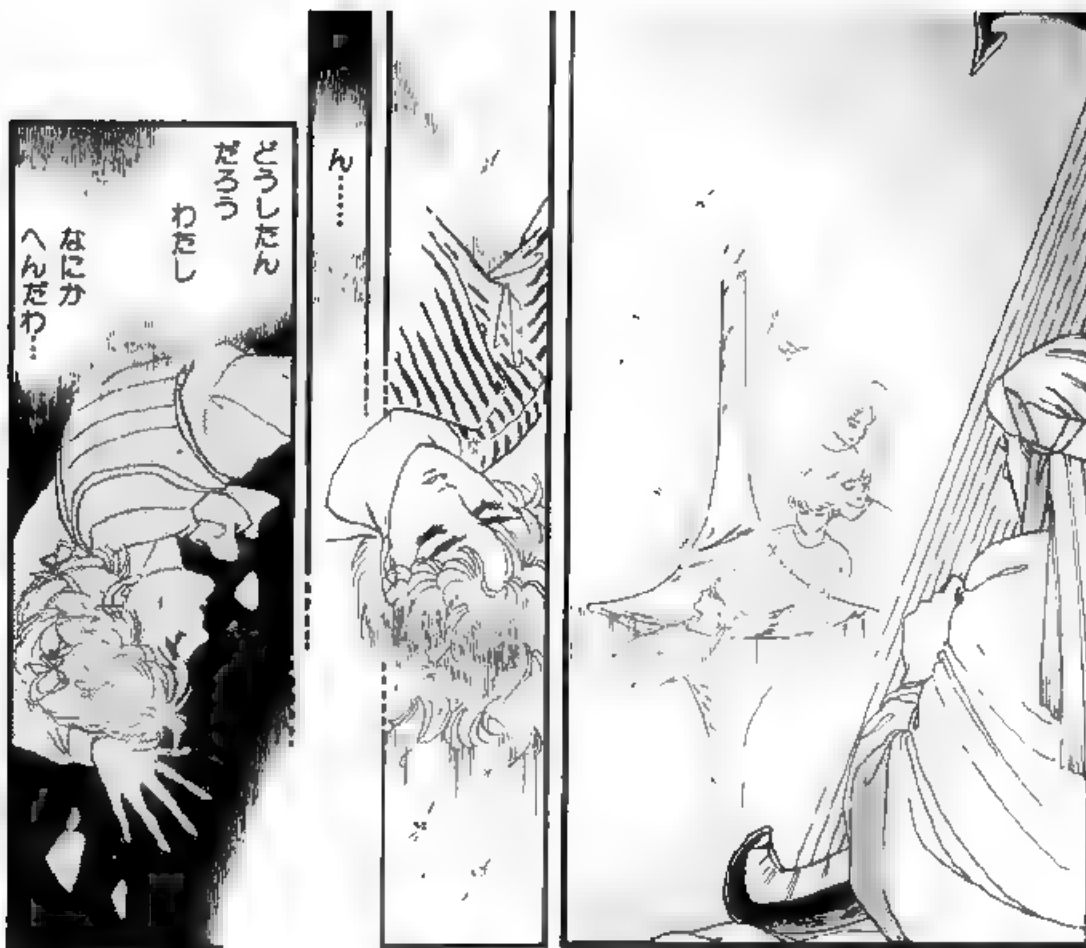
どこかで
見た…？



モザイク・ラセン









これは
ラトリの
目に映る
ものだ！

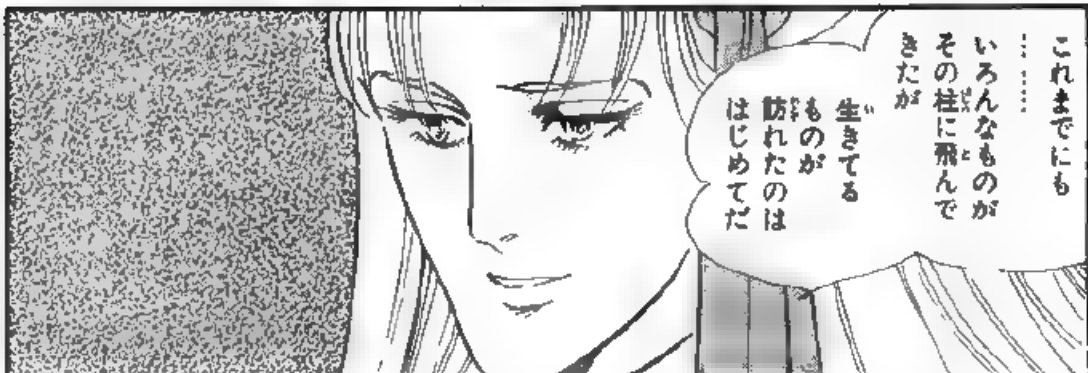
わたし
ラトリの中
に
いるんだわ！



ラセンか……



ラセン……



これまでも
……
いろんなものが
その柱に飛んで
きたが
生きてる
ものが
防れたのは
はじめてだ

モザイク・ラセン



センジ!



サムティ

ええ



ここだ
リーマ



センジ!



冬宮の
兵たちがきた!
血相を
変えてる

冬宮の
兵?
……
ばかな

ち ちがう
よく似てる……

ああ
びつぱりだ



……



だれかが逃げこんだ
らしい。ここいらに

音律堂には
わたしひとりだ
だれもきや……



モザイク・ラセン



立って



ついておいで



どうぞ
隊長どの

冬宮の命です
音律堂の中も
調べさせて
いただく！



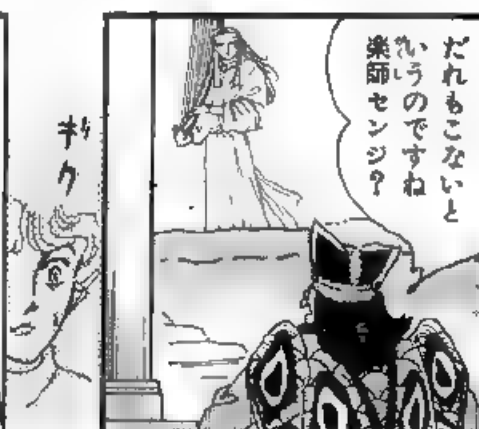
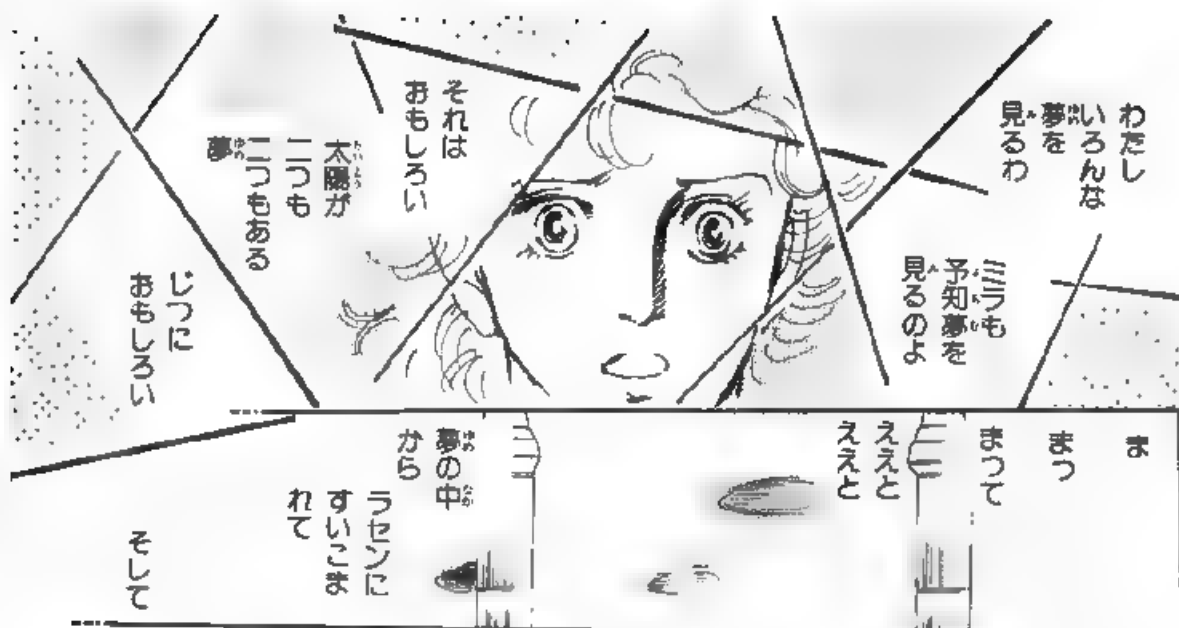
楽師センジ！

でも いつだい
ここは どのなの……



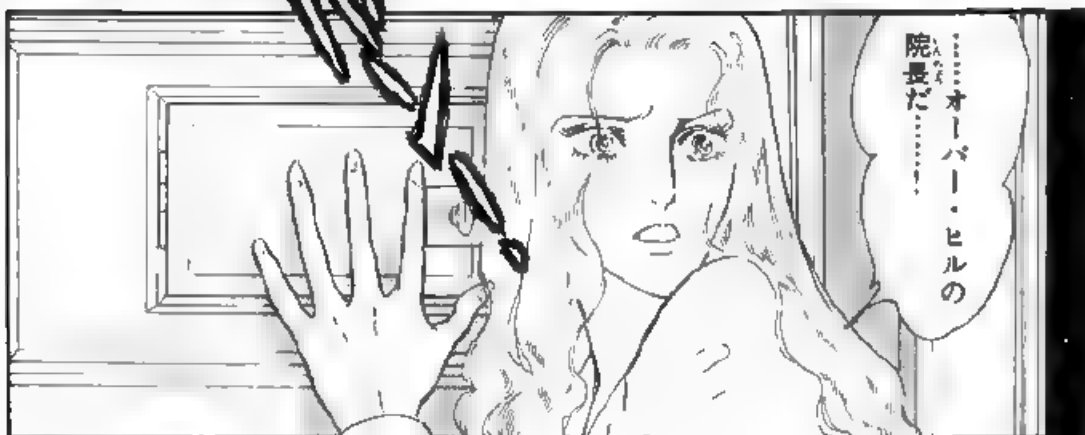
そうか
つかまつたんだわ
マリオネットみたい
封じられて
こういふこと



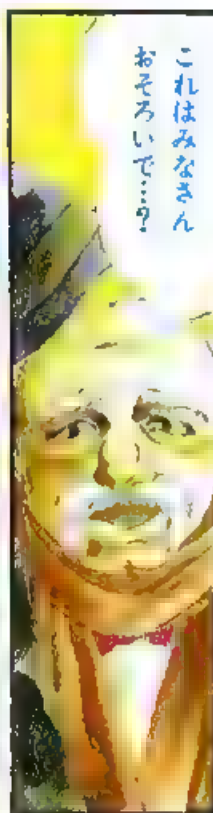


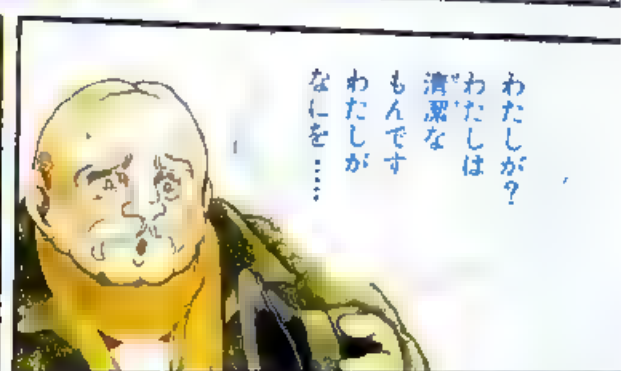
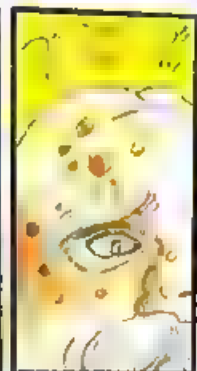
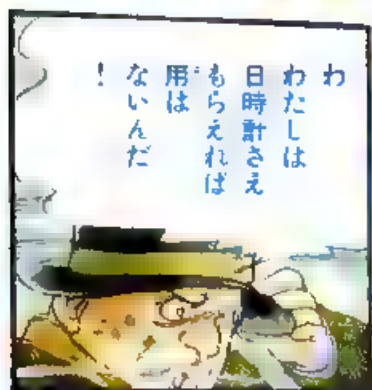






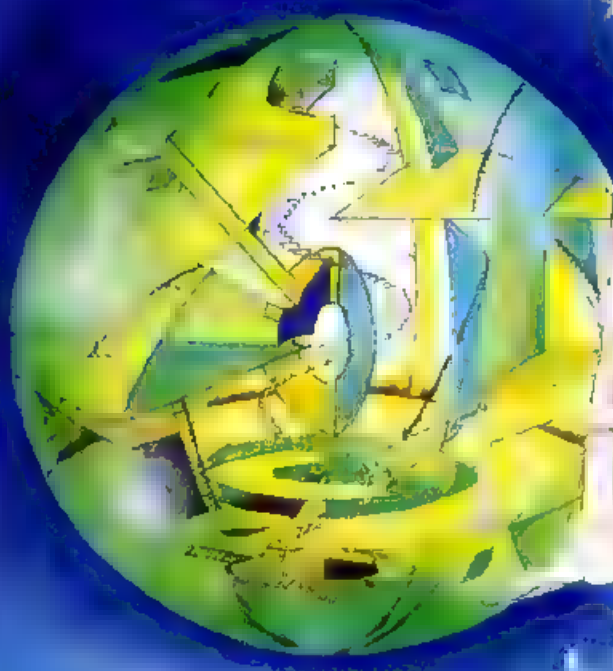






あらゆる時と時代に
異次元へのとびらは
ひらかれていた

ある時は
未来に
ある時は
過去に

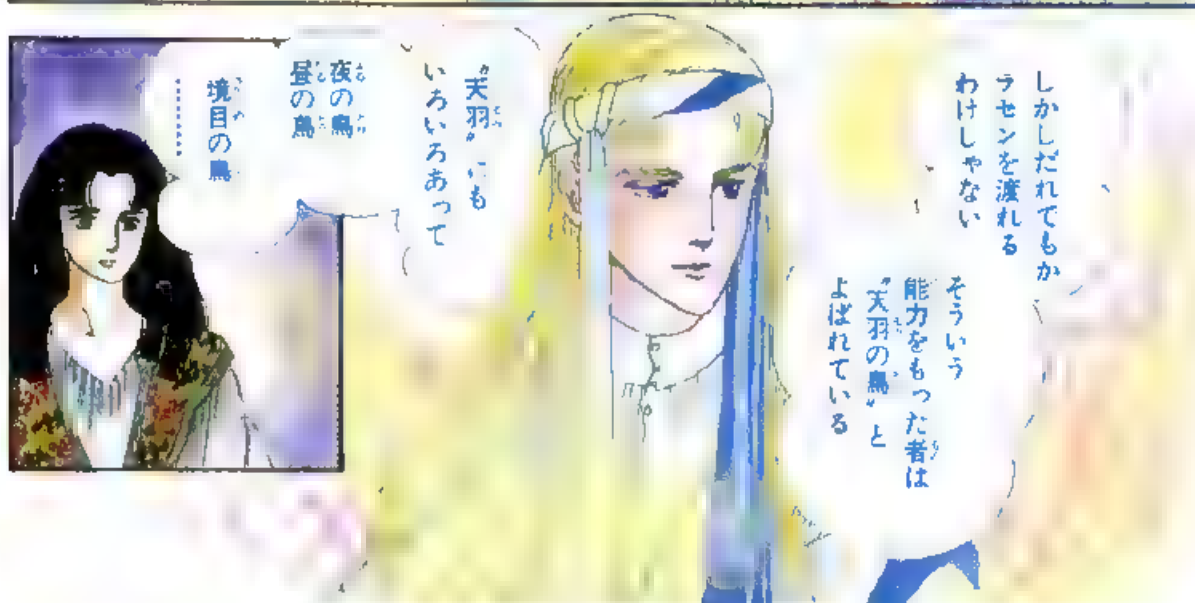




そしてあるときは
この宇宙のかなたへ
点在する
異世界へむけて



夢と無意識のカオス
——ラセンをぬけて



しかしだれでもか
ラセンを渡れる
わけじゃない

そういう
能力をもった者は
“天羽の鳥”と
よばれている

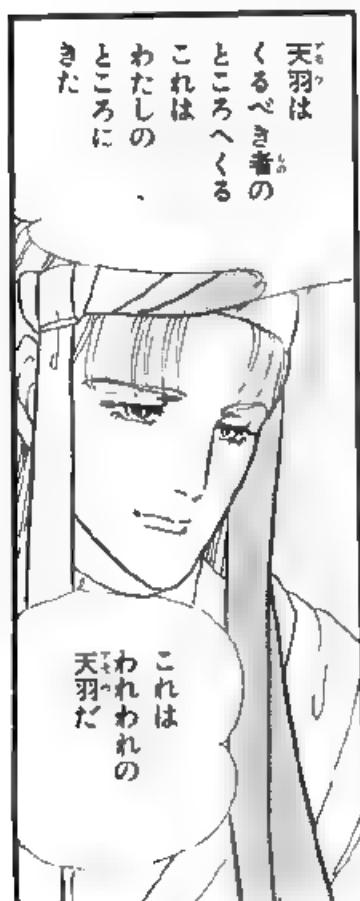
“天羽”にも
いろいろあって

夜の鳥
昼の鳥

境目の鳥

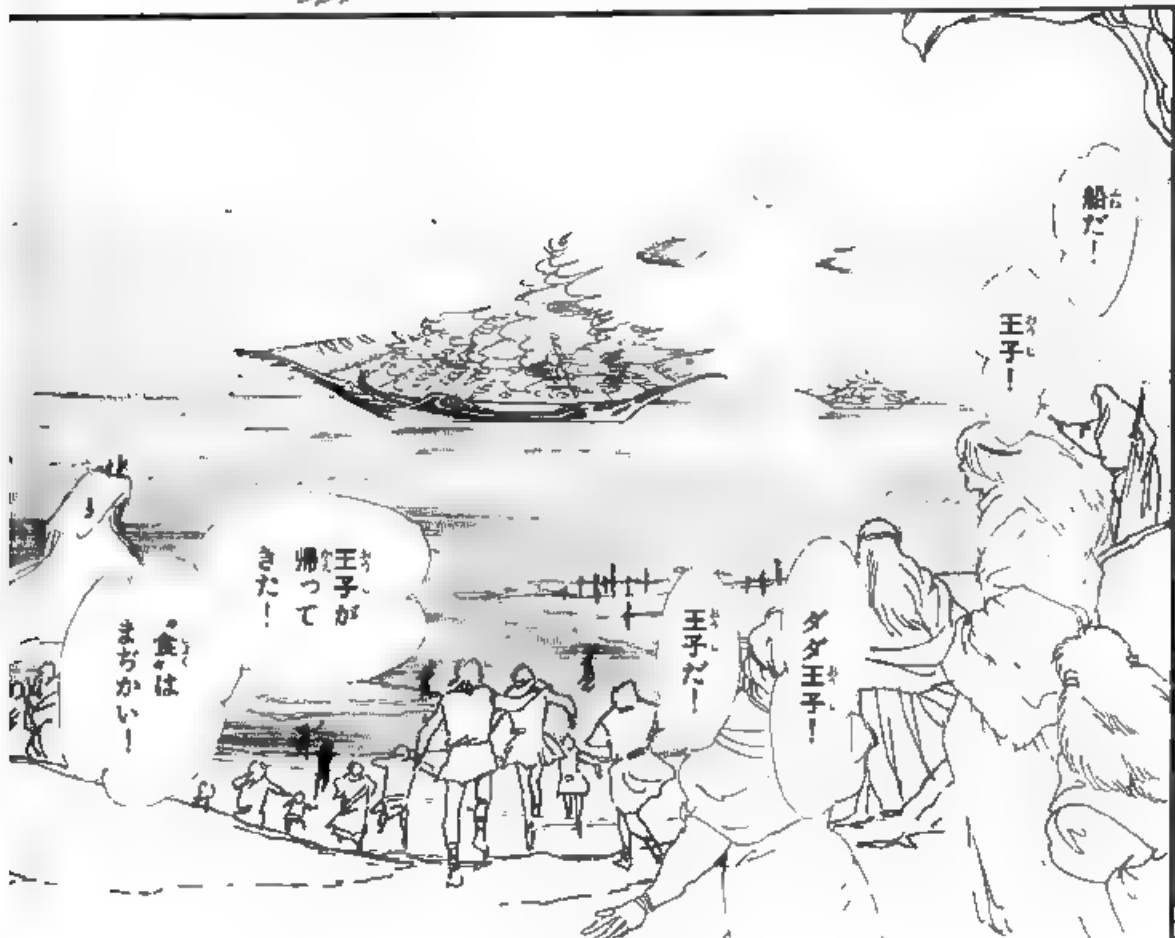
モザイク・ラセン







なんだ
ぬけ出られ
たのか
わたし
ちよつと
見て
よ





モザイク・ラセン



あれっ?



あのチビの
消えたり
現れたり
してる
のは…?

変わって
ない
ハハ
だれかの
イメージ
……?



ふーん
タタ王子
ねえ……

おーっ
センジ!



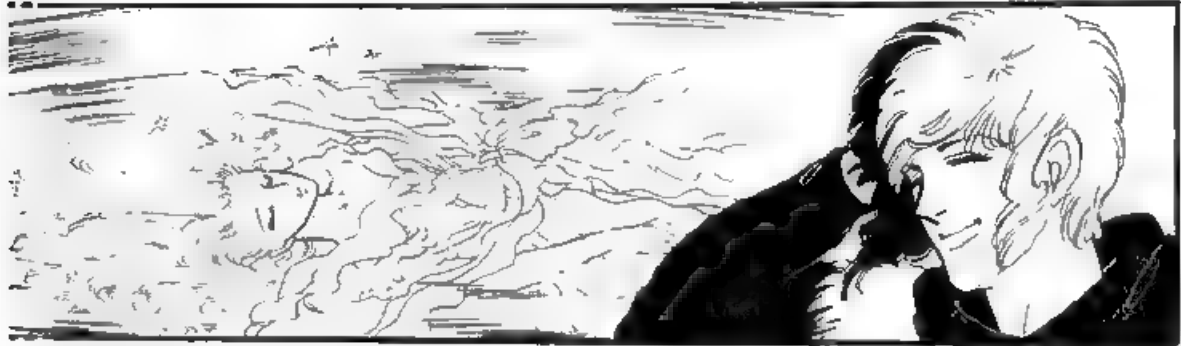
王子
おかえりを
まっけていまし
たよ!

どーも
楽師長

タタ王子

王子

隣国の大学で
よく勉強
なさったか



は
は
は



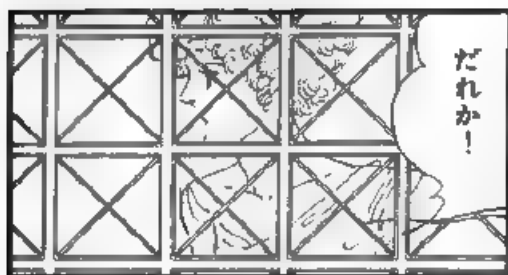
あー
タタ王子の
イメージだ
……むかしの……
小さいころの
思い出



……



モザイク・ラセン



だれか！



王子の
知りあい？



ああ
わかつた

この子の
見ていだ
夢の影ね
さつきのは



微島湾に
船が入った
か？

まあ
スピカ様
お早い

たった今
伝令が
きて



王子？

ええ
港内の
音楽堂に
おかえりに
おうちの
地ですもの

むかしは
よく
姫さま
たちと
お遊びに
いらして！



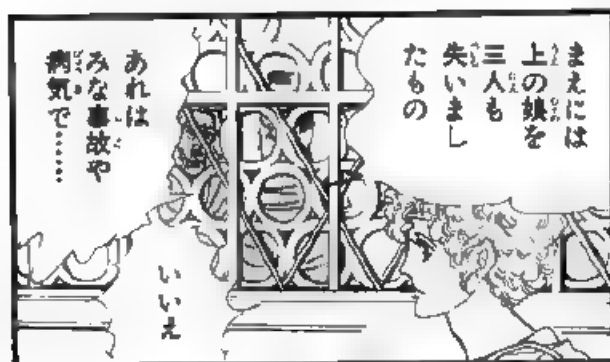
美しい
ラニアア
花のような
ラニアア



いいさ
姉君の
ことなら
あたしも
覚えてる

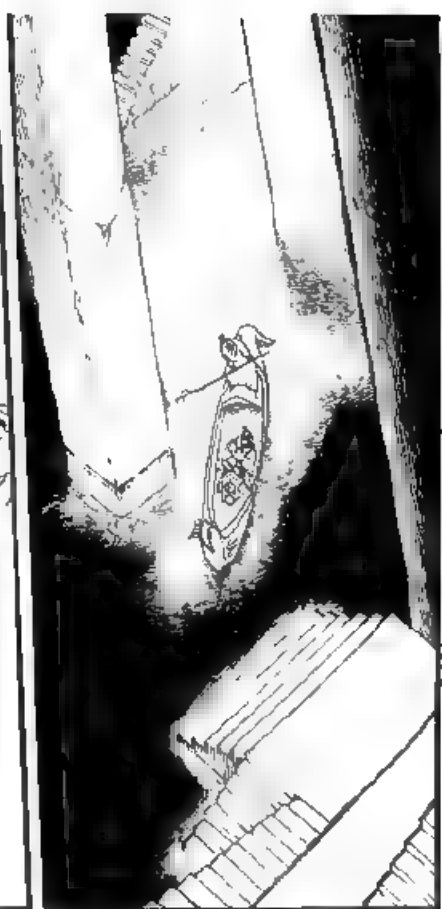


しつれ
いを
おそれ
います



モザイク・ラセン





……ついでには
きたけど……
こわくなつて
きた
帰ろうか
なア

でも
ラトリを
よんだ者の
正体を
見つけない
と……

ふう

なんかこわい
ちよつと
この人の中に
かくれて
いこう

すべて
二十年前に
黒のライガンが
現れてから
始まったのだ



地方の一領主
だったライガン
人の不幸を
利用して
出世して
いった
ライガン
わしは
彼に
ついたほうか
利口だと
思った

そしてある夜
一角の王が死んだ
残された
王妃は
ライガンと
結婚した
二年後
王妃も死んだ
そうだと大司の
ハムとロースも
それから……

まずわしの姉を
やつの
嫁にやつた
さらに
上の娘二人を
嫁にやつた
姉は死んだ
二人とも死んだ

こ
こわい
この人の
心のほうが

モザイク・ラセン



この
死人の
イメージ
だれのよ

わっ……あ
暗い
イメージが
暗い

なんの
用だ！



黒の
ライガン王!!



モザイク・ラセン





シエジュ!



お王様
黒の王よ

天羽の鳥は
こちらがわに
きています

弟が
そう
いってます



だが
わしの手
に入らぬのなら
こぬも同じだ!

もう一羽よべ
すぐに!



すぐは...とても...
つかれて...

一年が
かりで
長い呪文を
となえた
のです
この一年の間
ひとつの陽も
見ていない



いいか
わしは
食まで

天羽が
どうしても
必要なんだ!

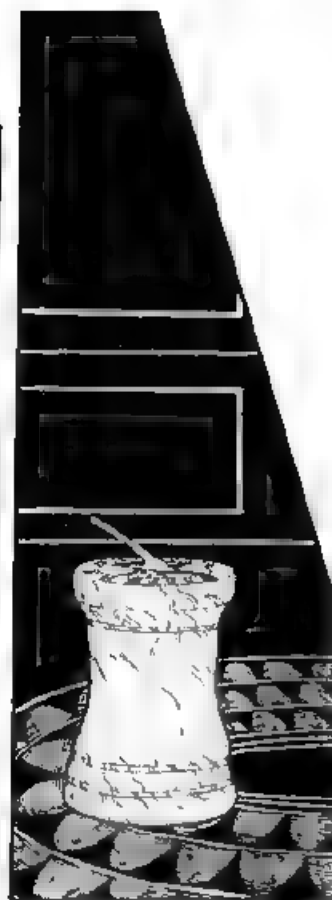
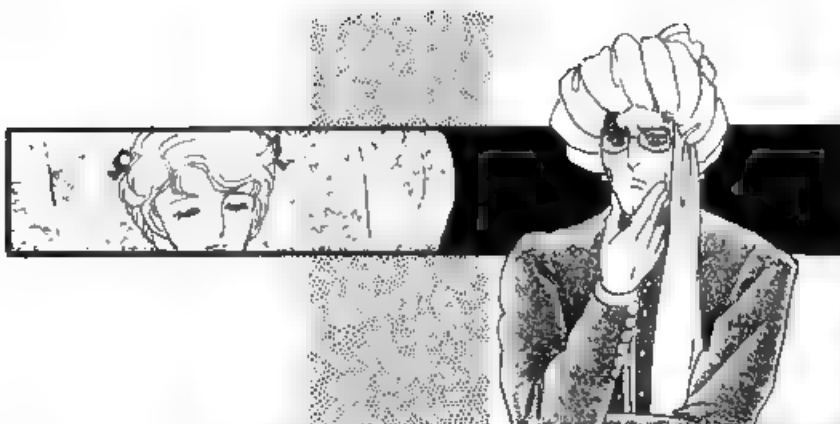
一年といつたけど...
ラセンを通るとき
時間がずれて...
地球のほうでは
八年の長さの
のびたのかも...



じゃあ
彼らが
フドリを
よんだのかー

黒の王に
命じられて



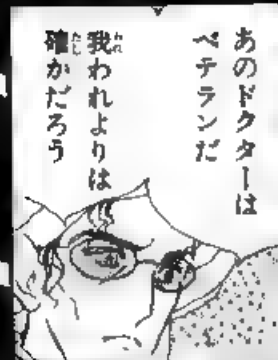


モザイク・ラセン





だいじょうぶ
かしら……



あのドクターは
ベテランだ
我われよりは
確かだろう



「……ベテ
ランだ
わいしは
異次元人と
会った！
オオカミ男を
見た！」
貴重な体験
らしい



どこまで
落ちる
んだ？



まあ……
わたしも
異世界の
カメレオンは
はじめて
地球の
オオカミ男は
はじめてだ

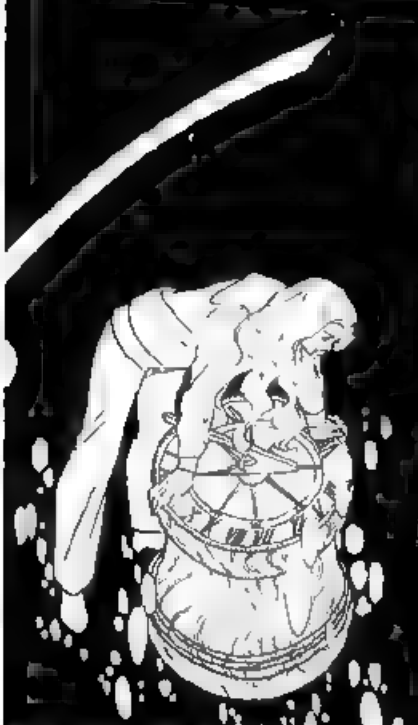
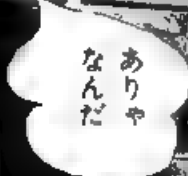


耳を
ひっこめてくれ
ジンマシンが
でる



そろそろだ
日時計は
いじらんように！
こっちの腕時計と
針がずれたら
帰れなくなる

OI・K



悪夢の
かたまりだ
とっつかまらん
ようにしろよ

あの中に
入ってく
のか？

わしや
だいじょうぶだ
じゃーな





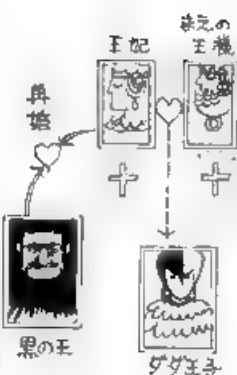




モザイク・ラセン



王位には
つかんよ
素師に
なるんだ



あなたは
一角の先王の
わすれがたみ！
食が明けて
17歳になったら
王位を継承できる

黒の王は
食を
恐れているん
です！



ふん
えーと
こういう
関係か
ハムレット
的だね



または
正式な結婚でも
いいけど
食まであと
二十日足らず
まじどおしい
ああ
ランランラン！

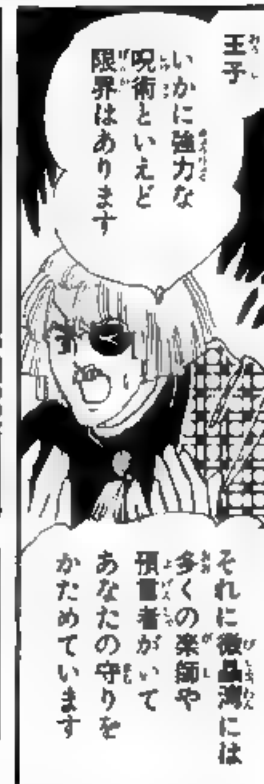


とにかく
オレは
もう
やだよ
亡き
ローマ大臣
亡きハム！

亡き王妃
亡き一角の王
亡き乳母……
まア
このころは
赤ンボ
だったがね



……亡き
婚約者
ララニーア
……

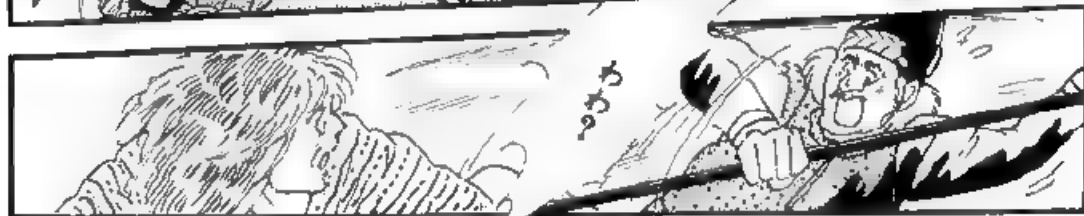


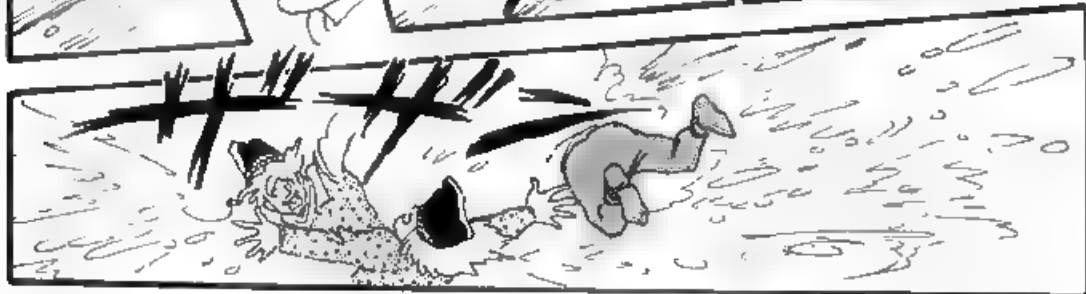
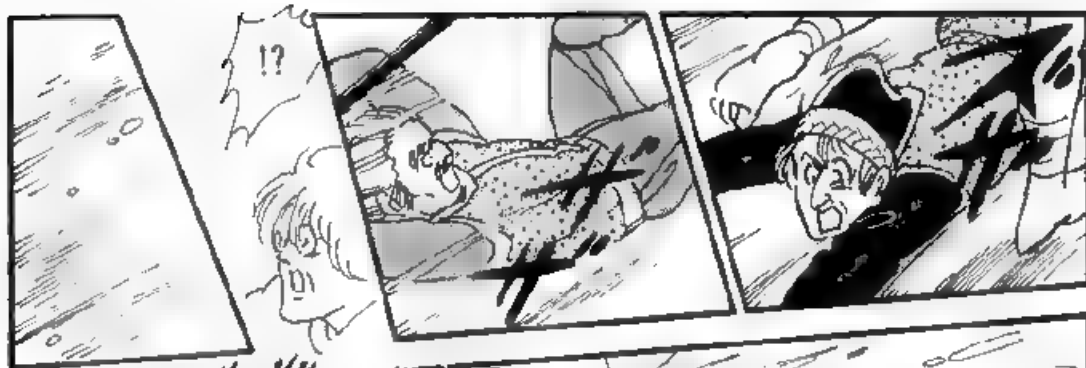




モザイク・ラセン












Raw manga
manga-zone.org

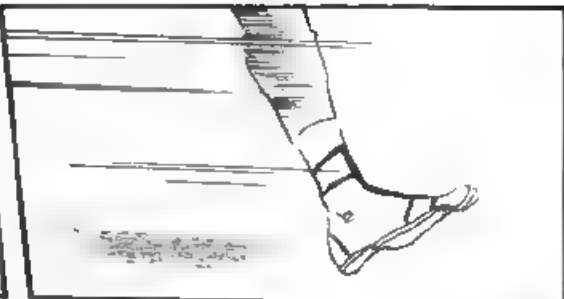








モザイク・ラセン



暗黒王の
殺しの



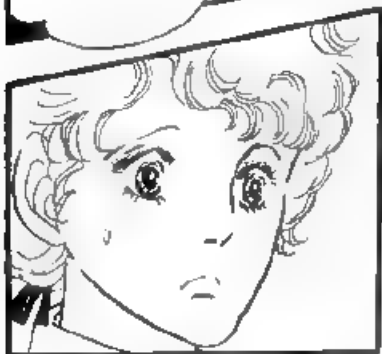
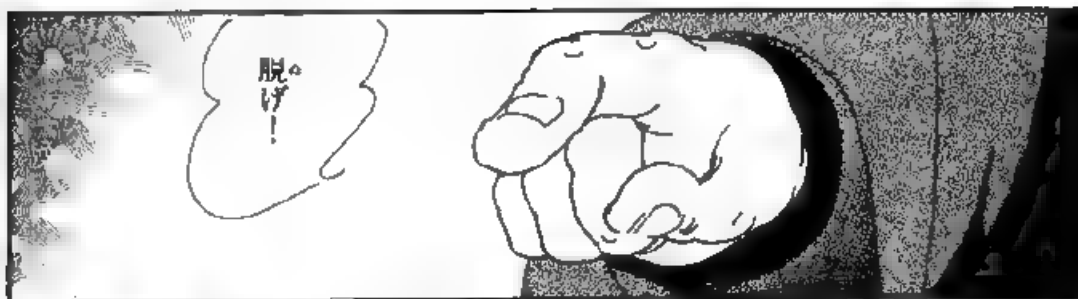
モザイク・ラセン

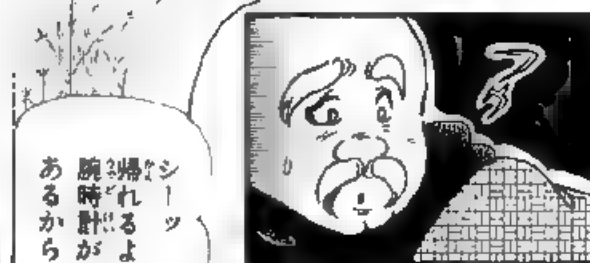






モザイク・ラセン







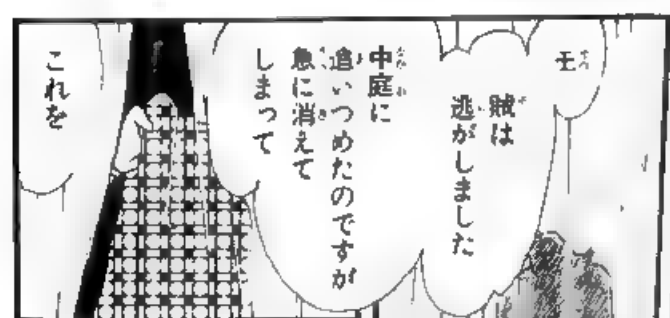


モザイク・ラセン









モザイク・ラセン



ダダ王子を
とらえよ
反逆罪だ！



そう
おまえは
国王の
暗殺に
きたのだぞ
術をかけら
れてな

いつも
なら
首つりだ



おまえは
わしの
息子だ！



この剣を
見よ

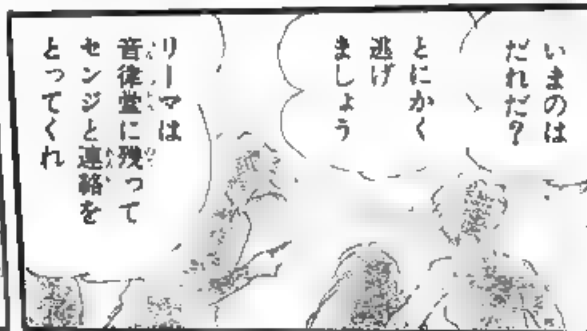
おまえ
のか？

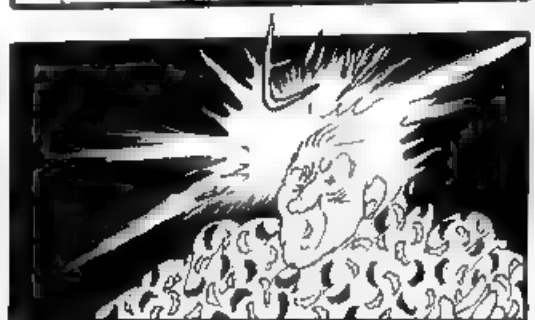
...さあ？

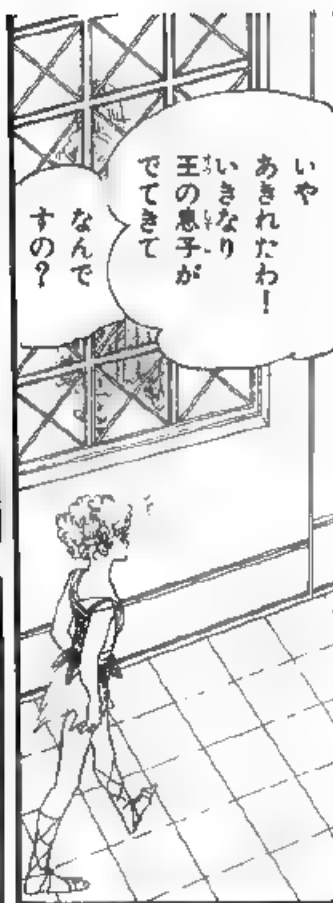


この銀の
紋がそうだ！

わかるか！







モザイク・ラセン



なるほど
井戸の底の
ような
中庭だな



シエジュ
光だ！
わかるか？



ええ
わたしたちは
双児で
生まれつき
はなれられ
ないんです

弟さんは
ひとりでは
歩けんのかね？



ふたりになる
……！
ふたりに
ひとつの
名前でなく
名前です



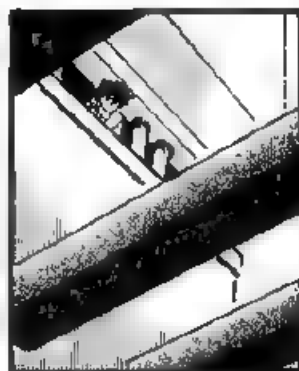
ひきはなす……！
わたしたちは
ふたりに
なれるんですか？
ラセンを
利用すれば
かんたんに
できるよ



わたしは
生まれつき
醜く
弟は美しい
んです



それは
なにもできない
弟さんの負担が
あんなにかかつて
るからさ
ひきはなせば
あんなの肌の
カサカサは
たぶん
なおるよ



モザイク・ラセン



こいつ
頭がほけて
んだな

三十三人ずつの
楽師と預言者さ

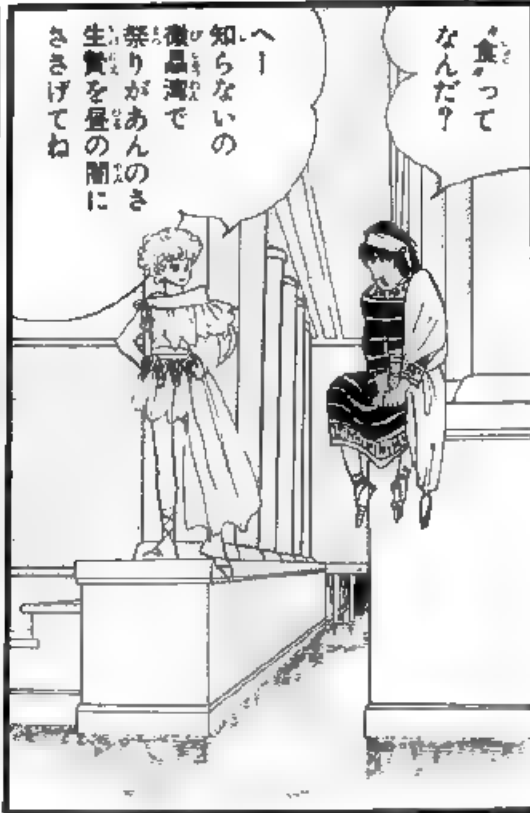
へー
知らないの
微島湾で
祭りがあんのさ
生贄を昼の間に
ささげてね

食って
なんだ?



こっそり
行きや
いいさ!

外に行こうぜ!
街は
にぎやかだ
でも
王が...



ラドリが
出かけたわ
追って
みる!

気をつけ
てな



つけろ

はっ

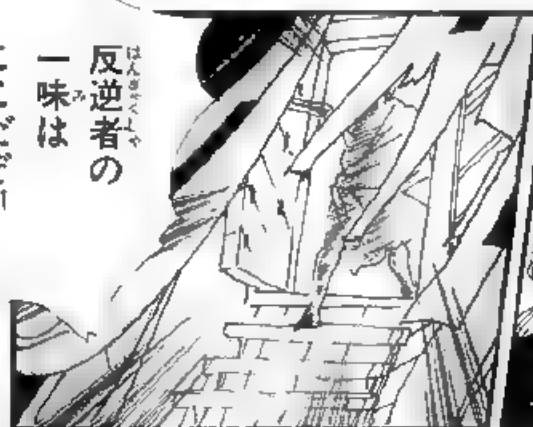


黒の王
ふたりが
出かけました





モザイク・ラセン



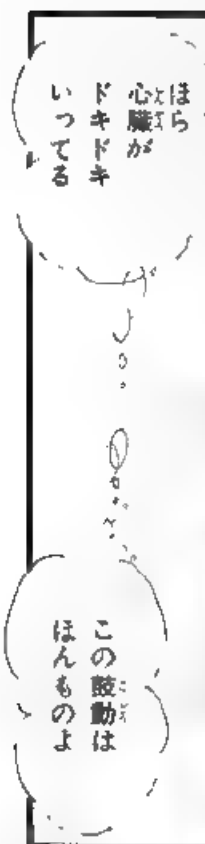


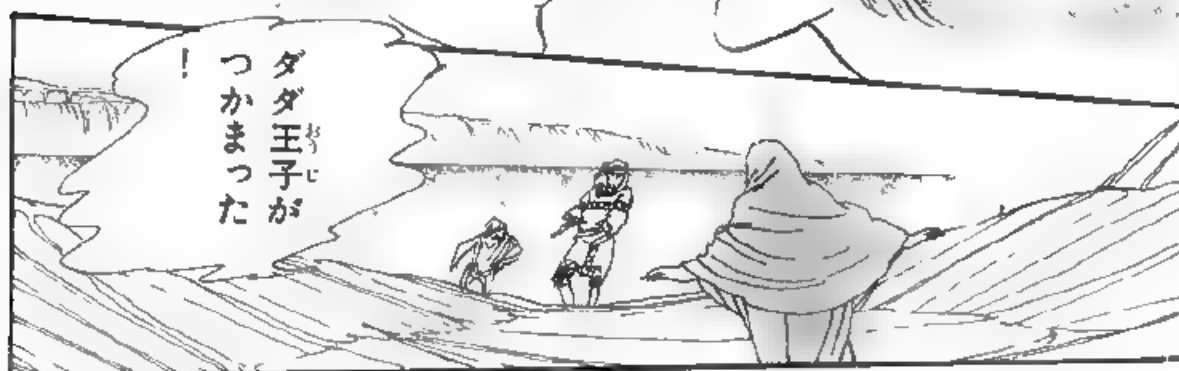
モザイク・ラセン

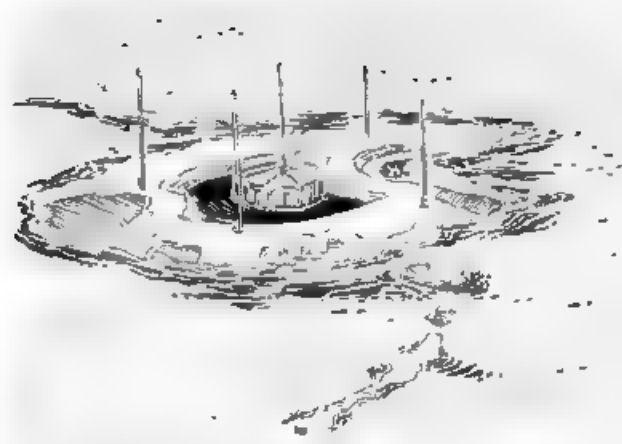




モザイク・ラセン







水位が上れば
岩は水中下へ
没してしまう

あの
岩の上の
聖堂が
生贄の場所だ



それが
見つければ……



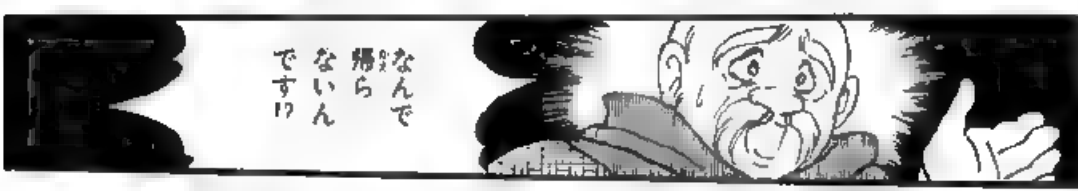
微品湾の
地下一帯は
巨大な
鍾乳洞の
迷路だ



古い文書に
あの聖堂の地下に
ゆけみちがあると
記されている



生贄は
全員、
脱出
できる
わね！



なんで
帰ら
ないん
ですり



それに
黒の王の
秘密を
知らない

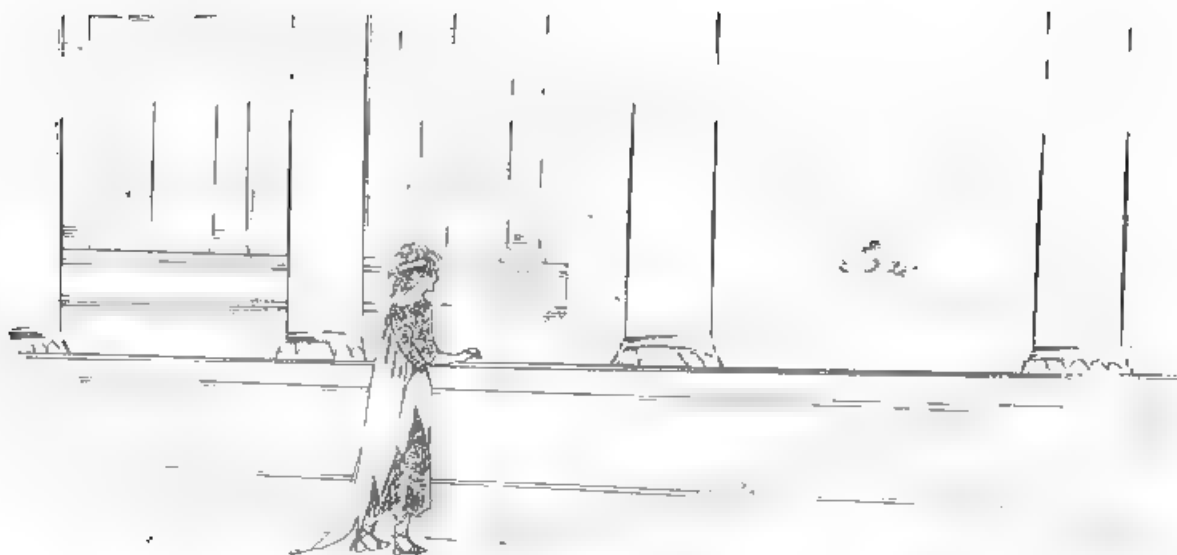
また
ラドリは
さらわれる
わ

だじよう
ぶよ！
超能力が
使えるし！



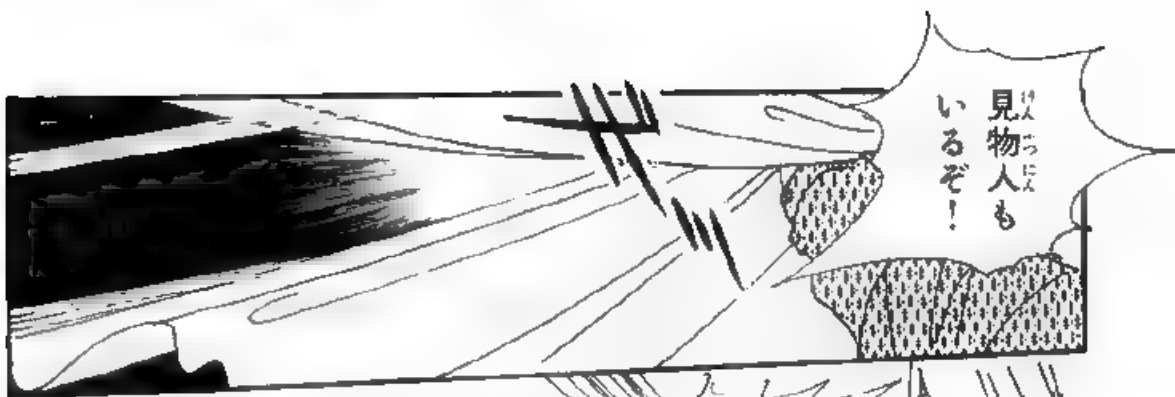
ラドリは
見つかったし
異世界は
危険だ
フォリンも
またせてるし
ーフォリンに
とつては
一二時間の
ことだが

だって
ほっとけないわ
ダダ王子たちを
知りあいなのに

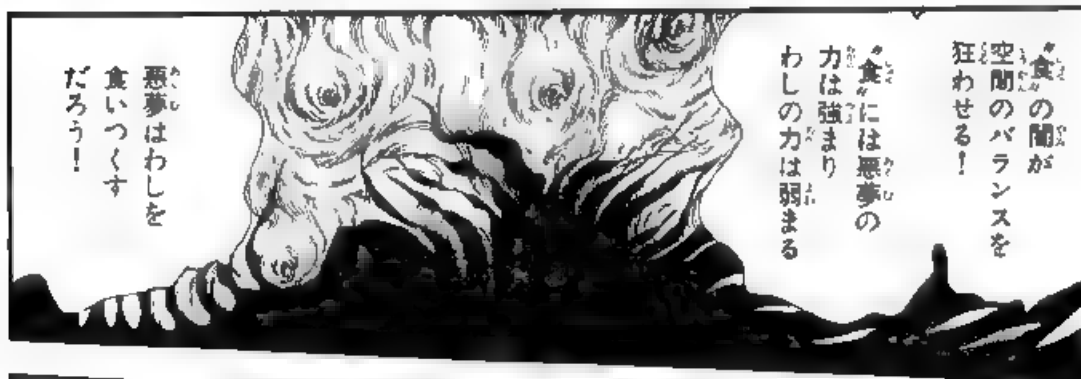


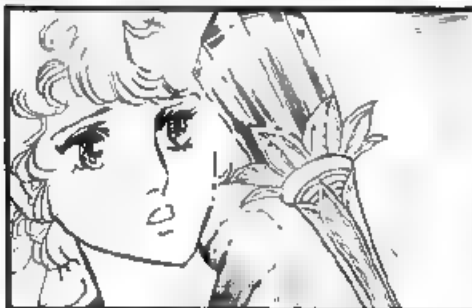
モザイク・ラセン













モザイク・ラセン





モザイク・ラセン



この光が
あるかぎり
悪夢はわしを
ひきずり
こめんど



おまえは
あとでゆつくり
始末してやる
！
食さえ
すれば
わしの力は
もどってくる

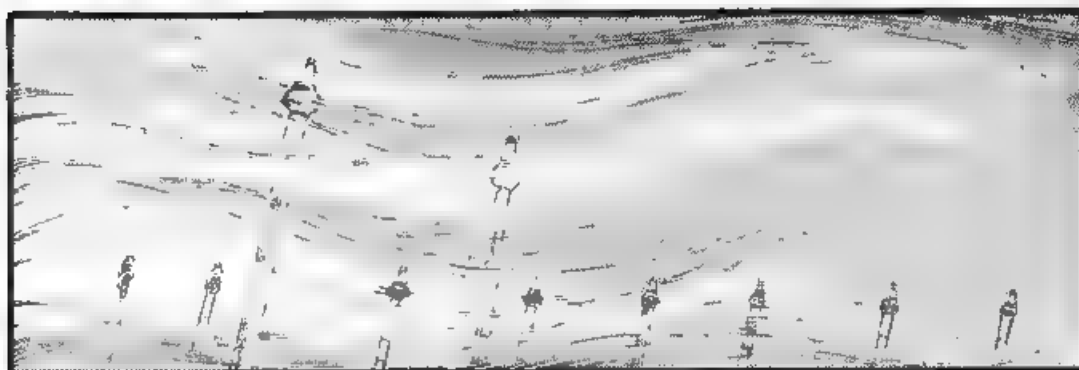


さんねん
だったなあ
あんなの
息子には
……！

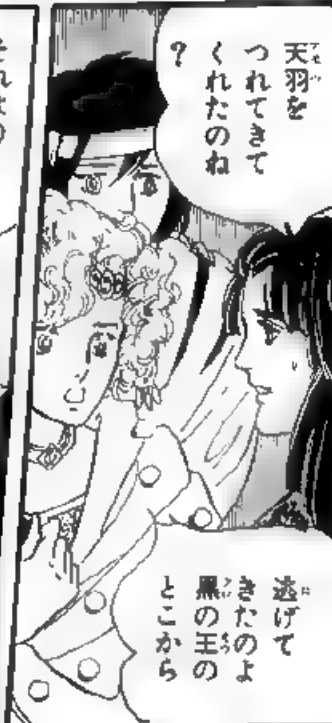


その男は
地下牢に
ほうり込め！

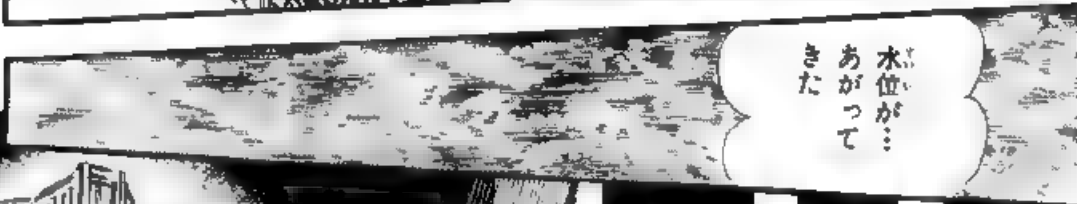
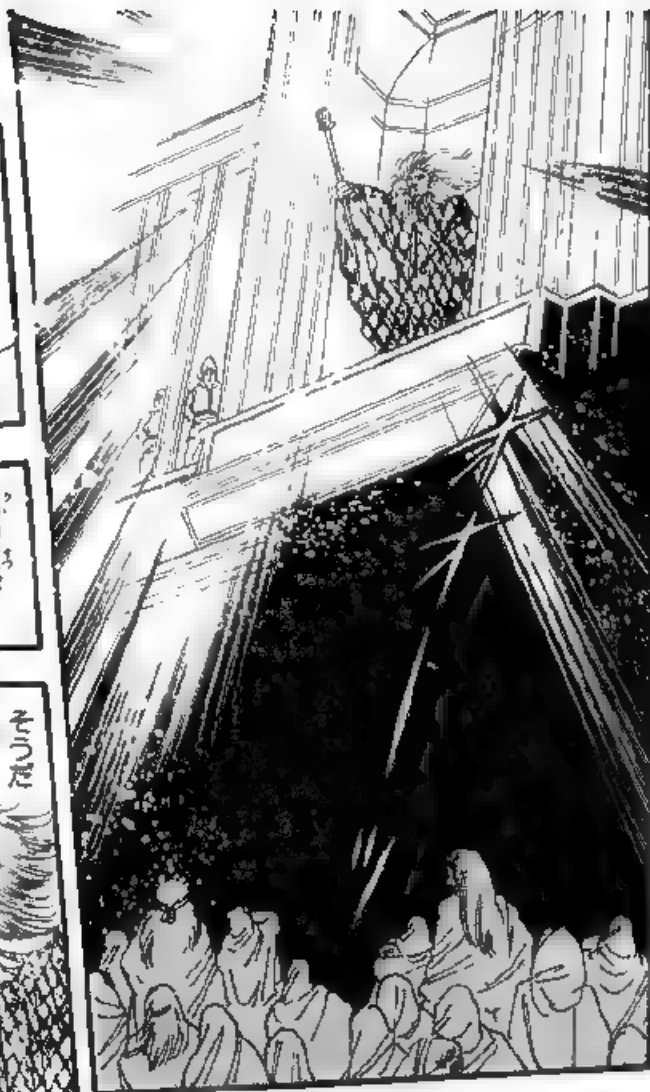


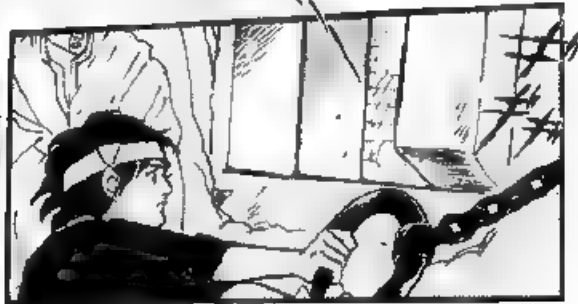
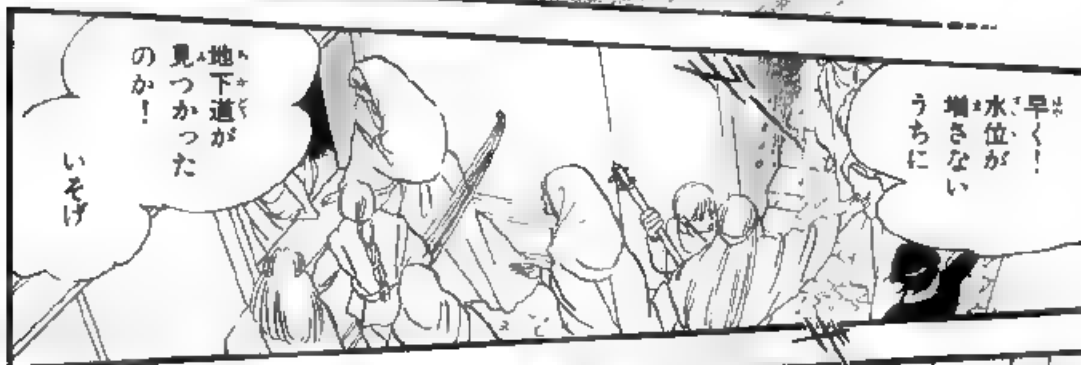
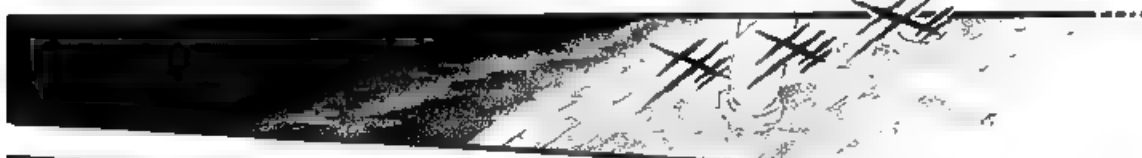
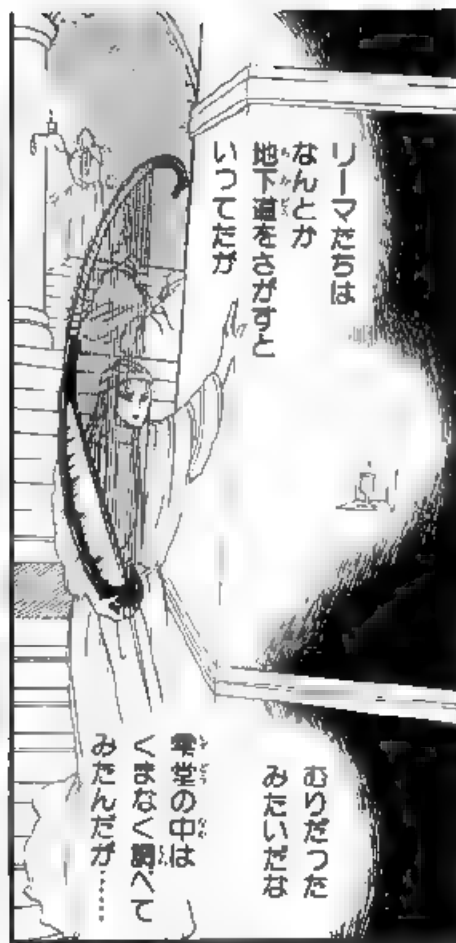




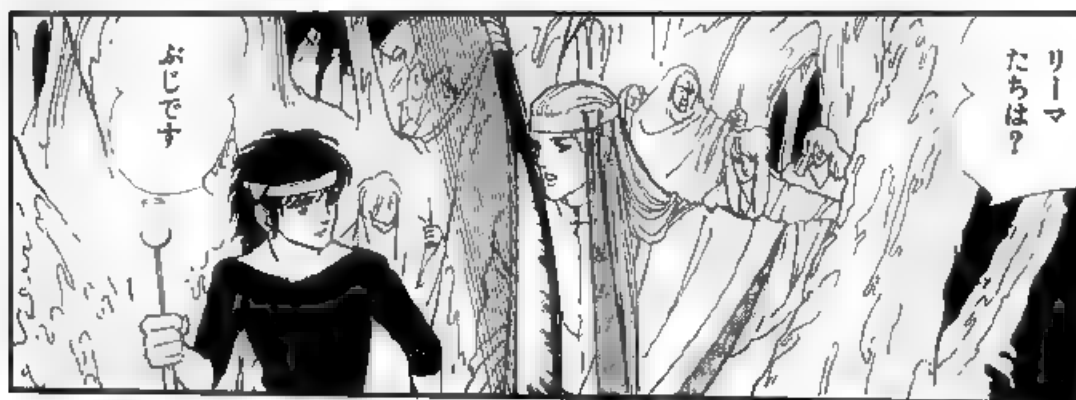


モザイク・ラセン



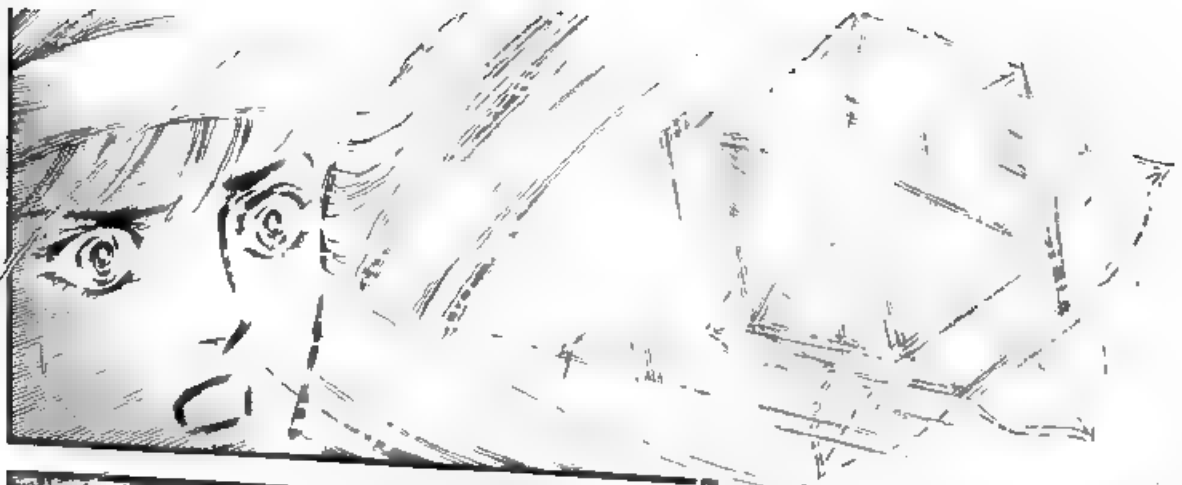


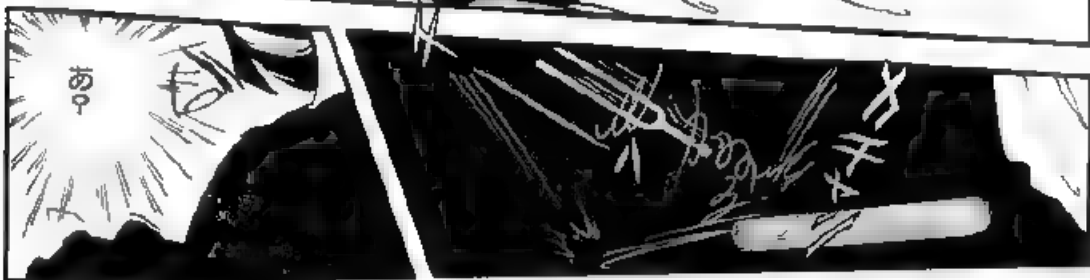
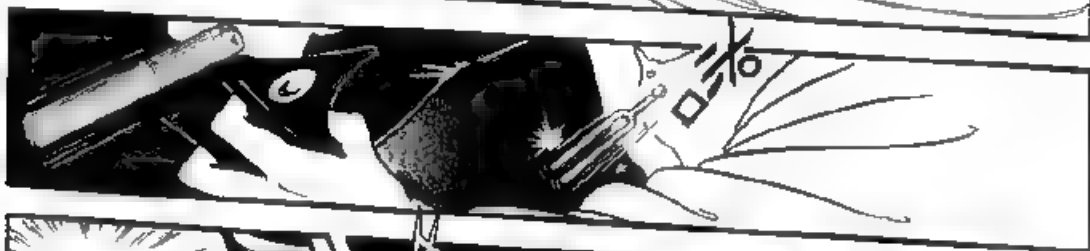
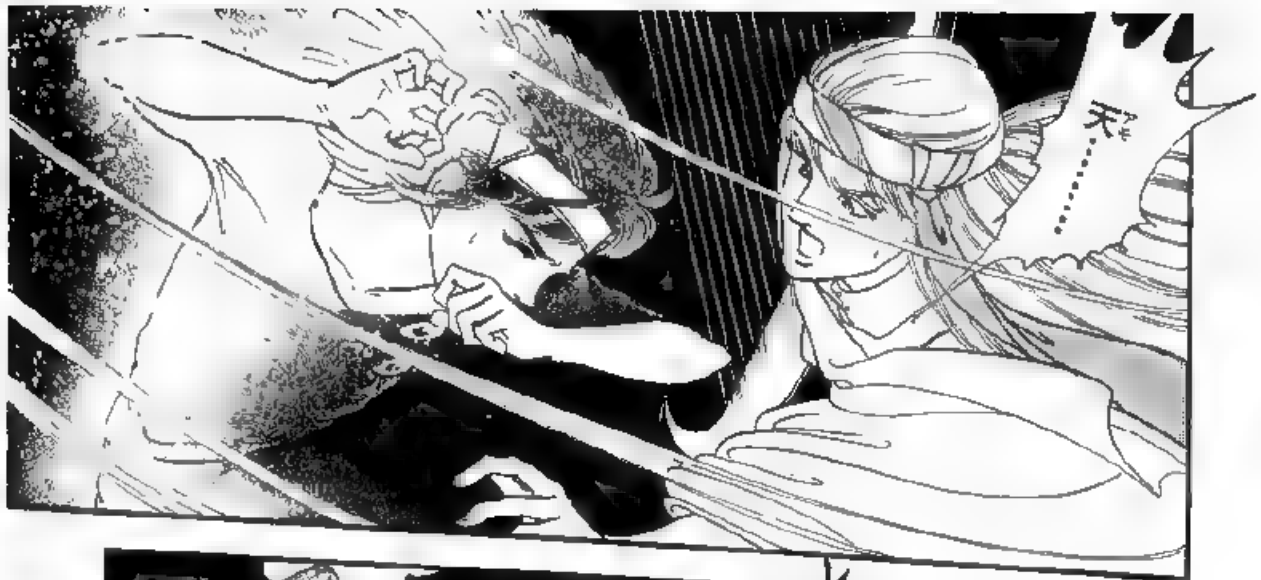
モザイク・ラセン







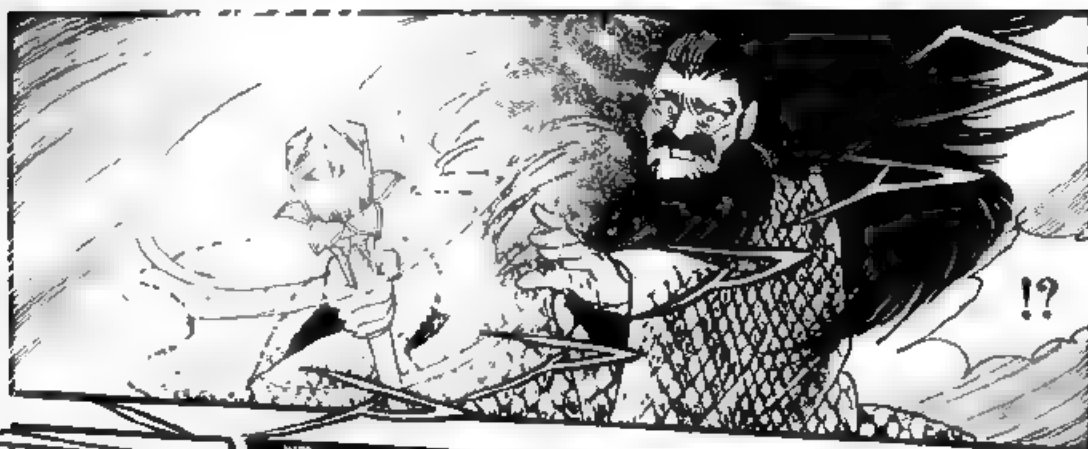


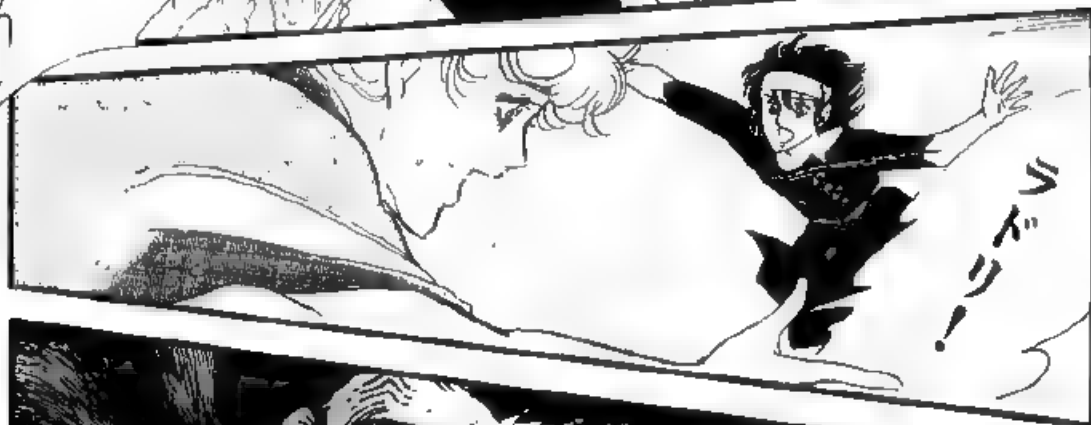




444
ヘルツ

モザイク・ラセン



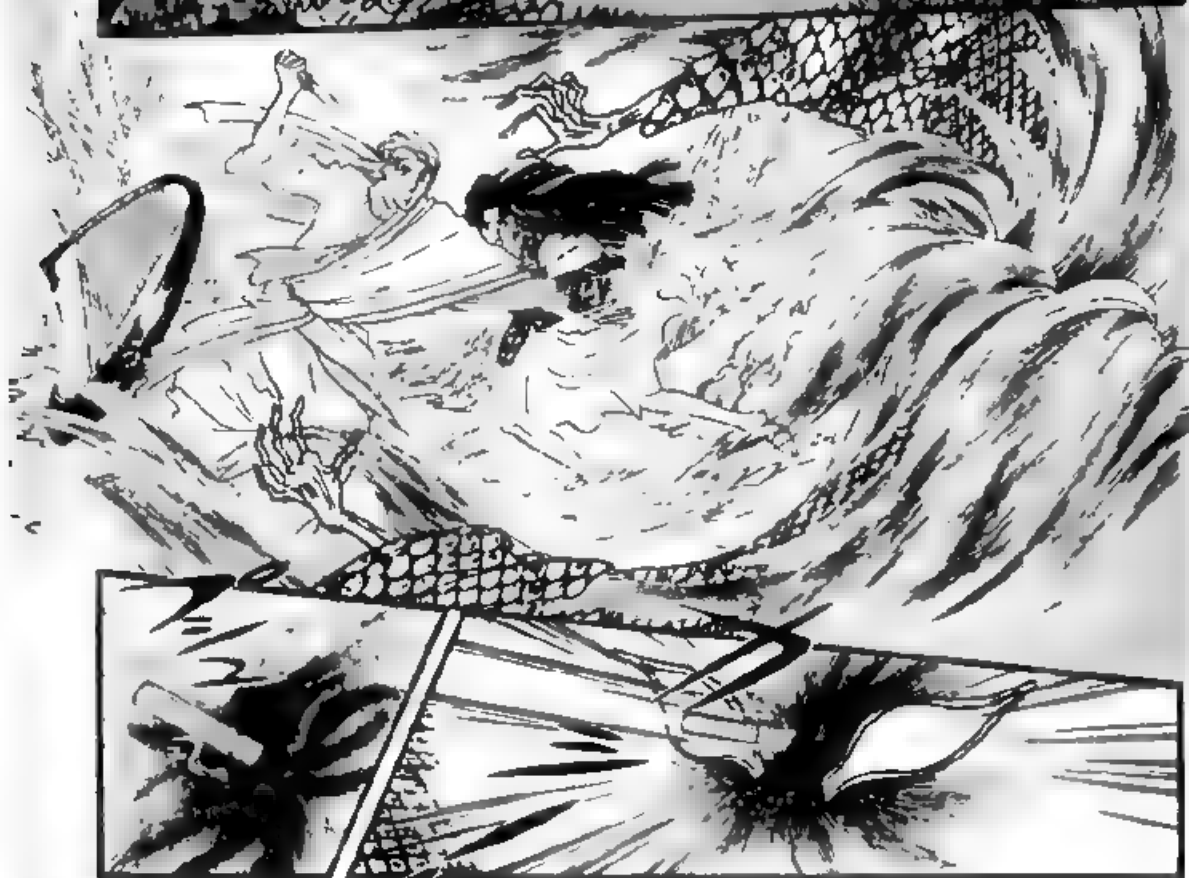


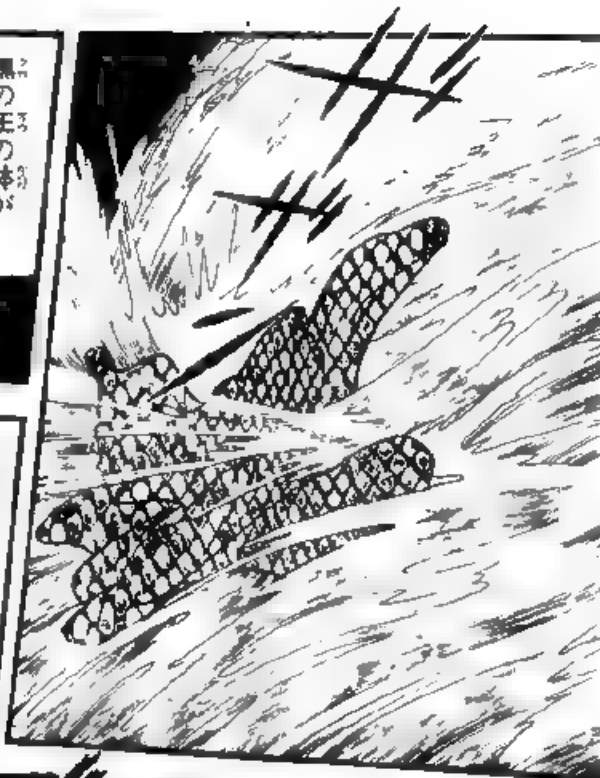
モザイク・ラセン





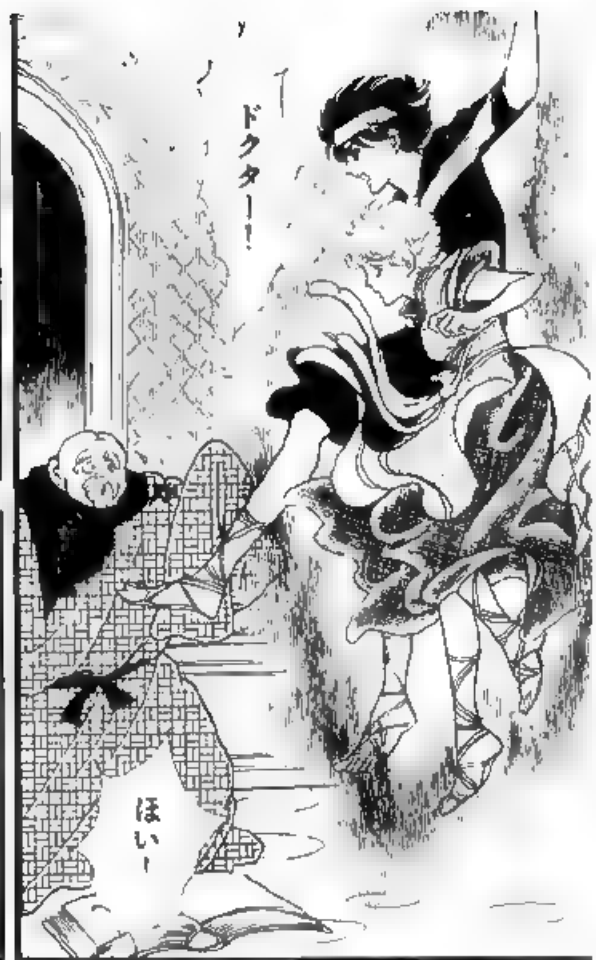
モザイク・ラセン



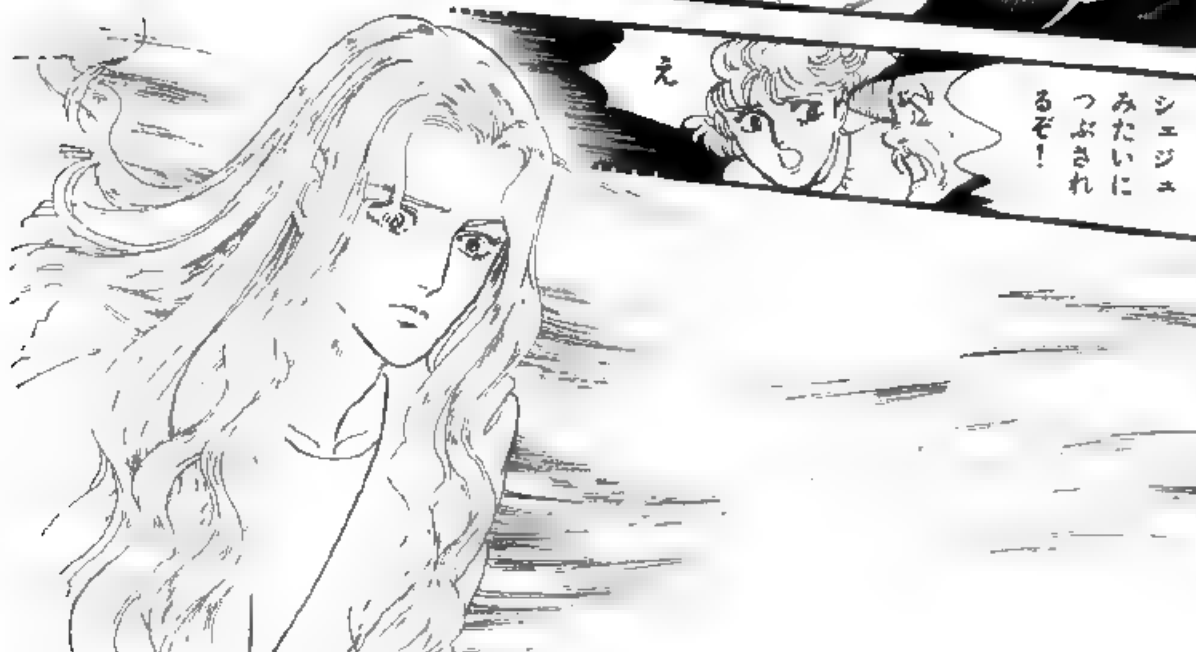
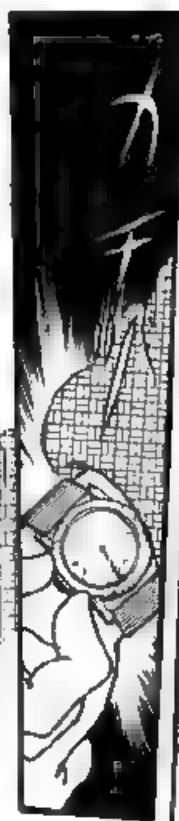


モザイク・ラセン

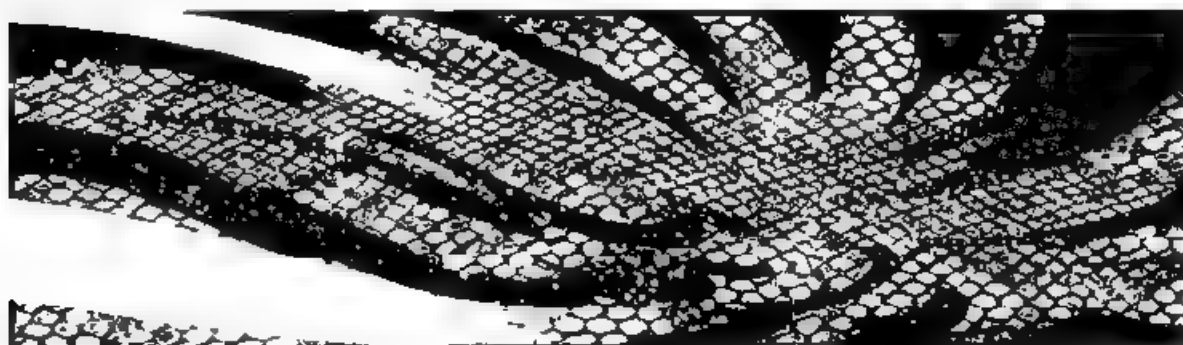












モザイク・ラセン

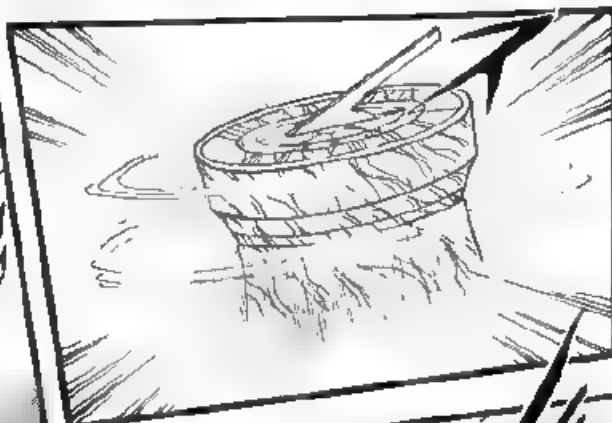








モザイク・ラセン



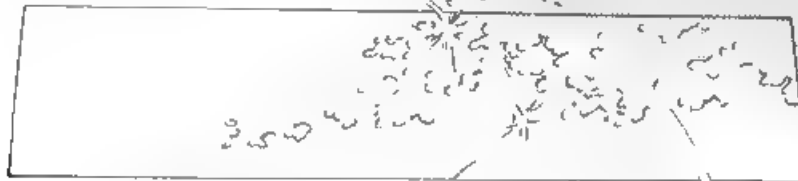
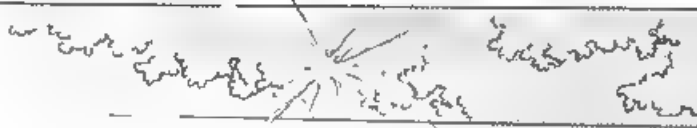




入って
くるな！
帰れ！
帰れ！
おまえの
いた
場所へ！

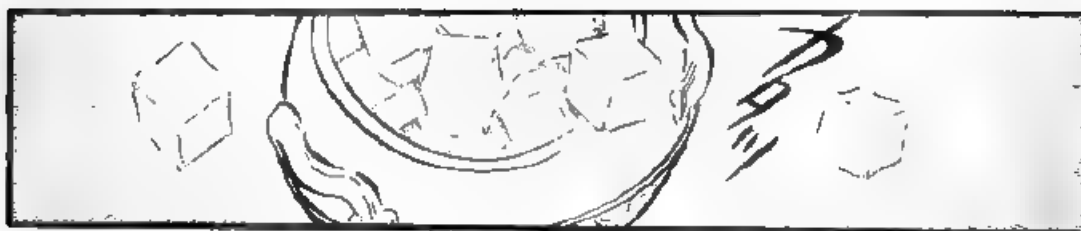








モザイク・ラセン





コントロール法を
教えないと

そうだ
メンバーは少ないが
世界中にいる

わたしが研究
しているのは
古代から地球を
往来していた
種じゆの――

別の世界の
生命体とその
空間をつなぐ
ラセンだ

この
オオカミ男も
ですか

超能力のね
我われは
そういう
サークルを
つくってる

…コントロール？



そのラセンに
出入りしたり
ラセン空間を
感知したり
できる
能力をもつ
ものを
探している
んだ

ラドリは
いい
メンバーに
なることね



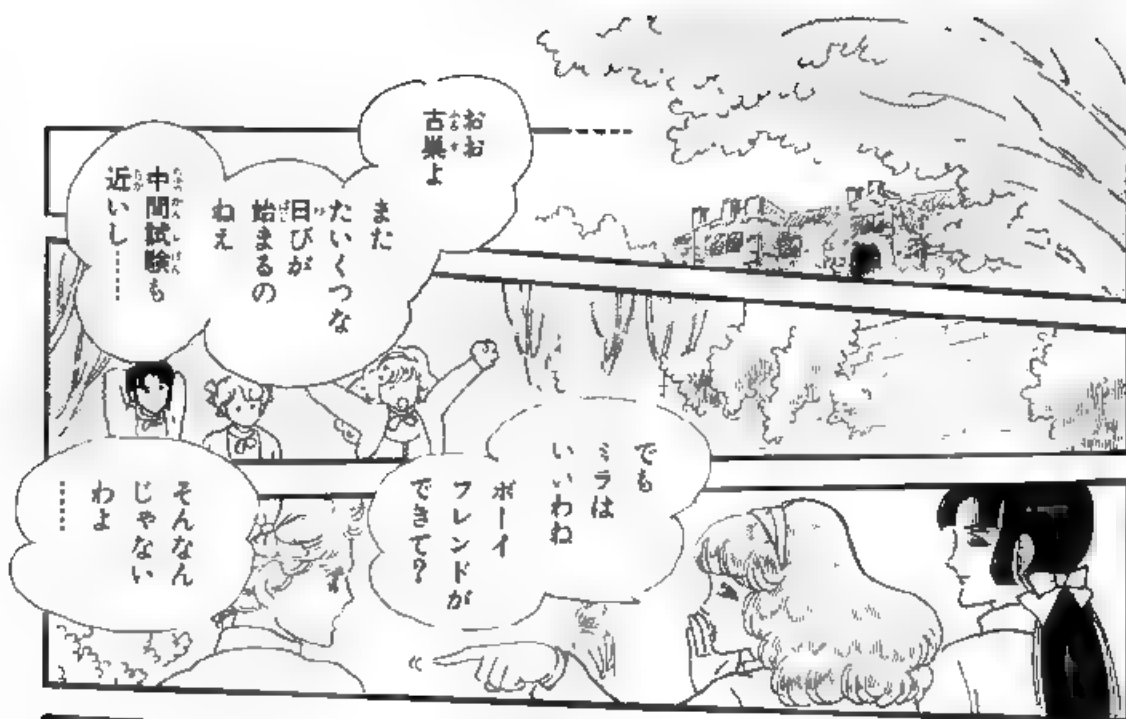
あたしも
やってみようと
したけど
ダメだった
こつちは
むこうと
ちがうのね

残念なような
ホツと
したような

けさは
なんだか
そつけない
ラドリ

きつと…まだ
つかれて
るのね

さ 学校に
帰らないと



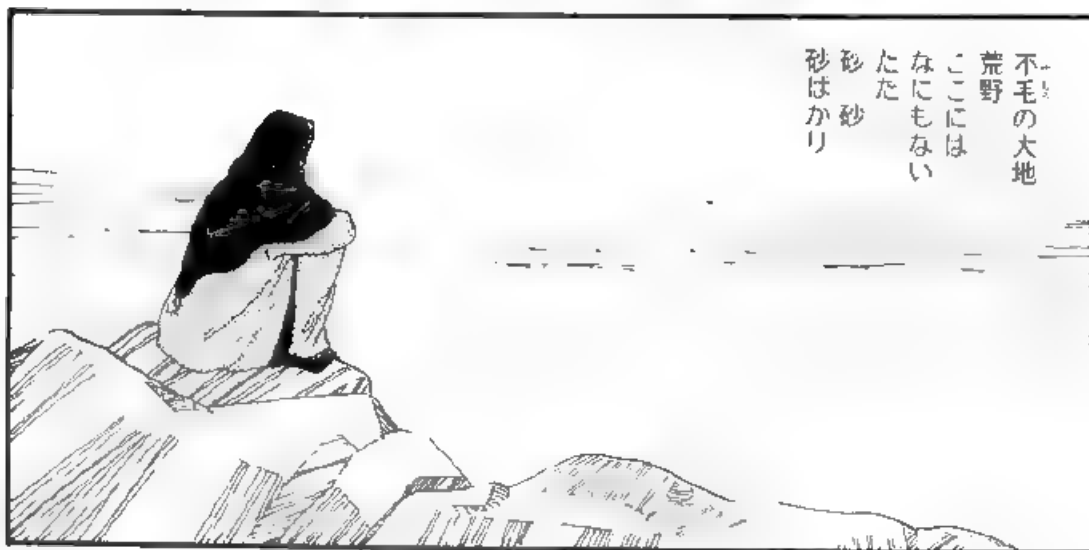


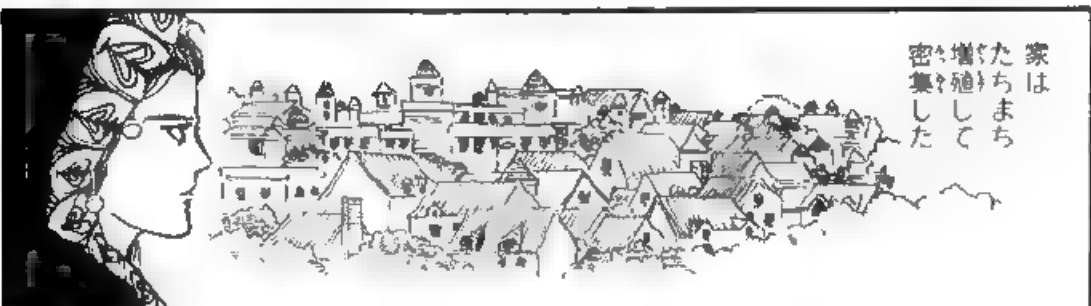
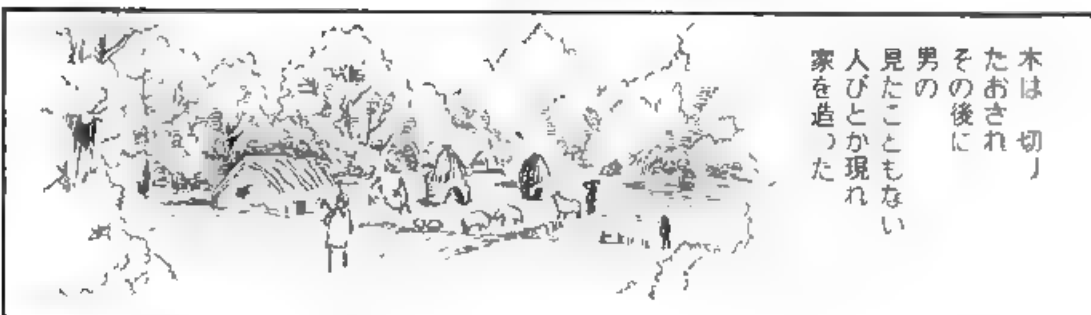


「おわり」ノリンセス 1982年9月号・12月号に掲載

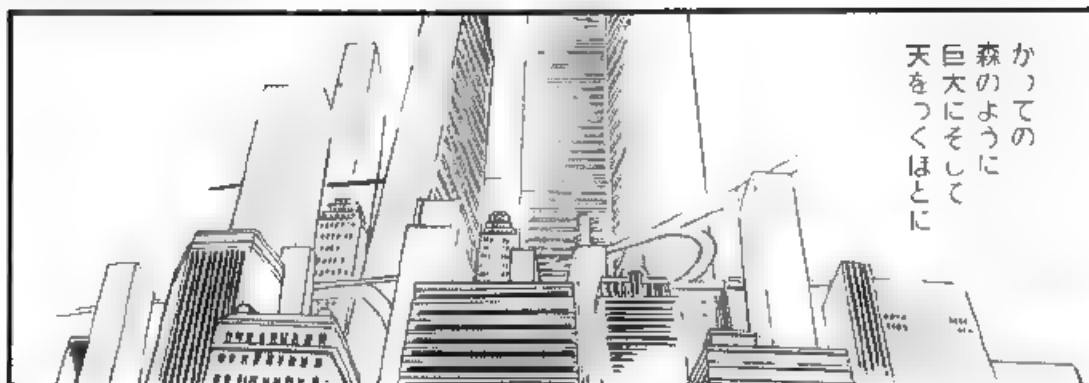


砂漠の幻影





砂漠の幻影





鳥の影は
また
地上にあ
まばたき
するまの
時も
たつては
いなか
た



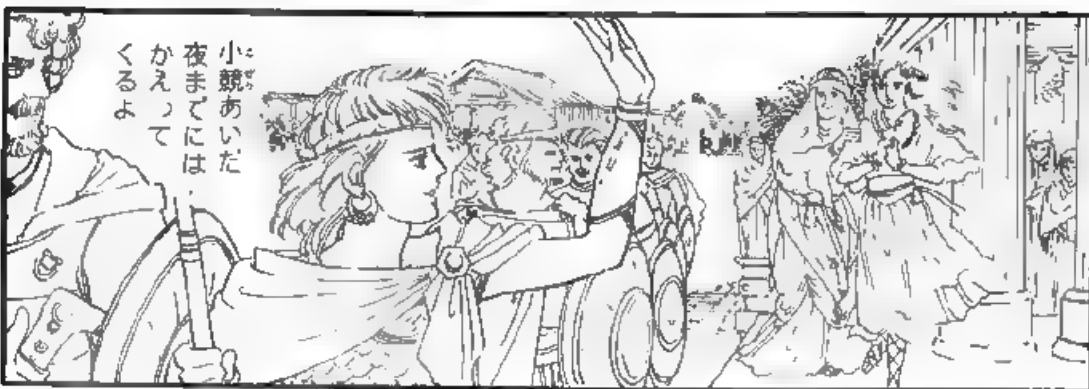
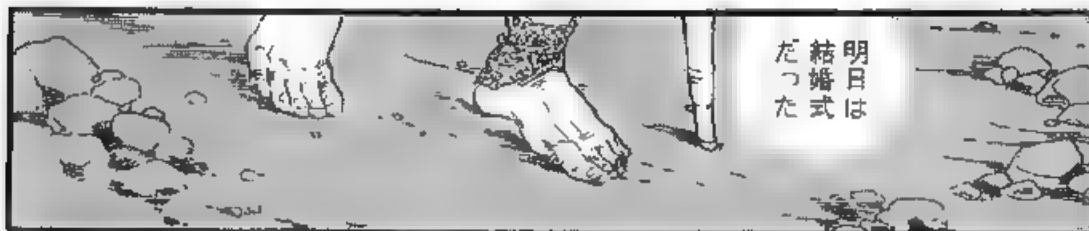
鳥の夢
人の夢
砂漠の夢

いまの
幻影は
砂漠の
喘む
夢たろうか
男は思
た
と



風化する
時と
砂の夢

神殿の少女





戦いの中で
若者よ
捕えられた



奴隷として
遠い
異国へ
売られた



何年も
過ぎた

歳月が
少年を
老人に
変えた



ある日
老人は
解放
された

彼は
杖をもつて
東へ
向かった



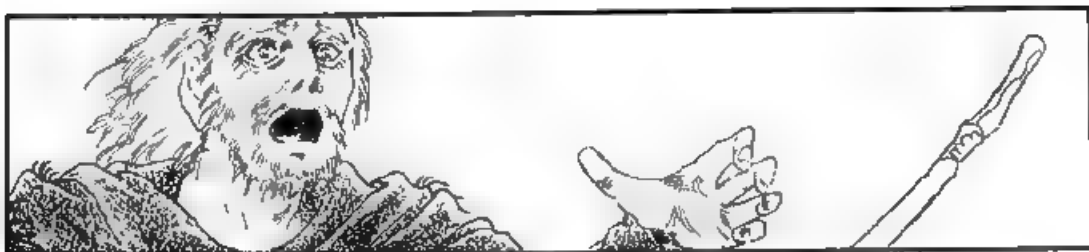
故郷へ



明日は
神殿で
結婚式だ

神殿の少女





（おわり）グレイプフルーツ

1984年20号に掲載



風の吹く
魔壇の
下に

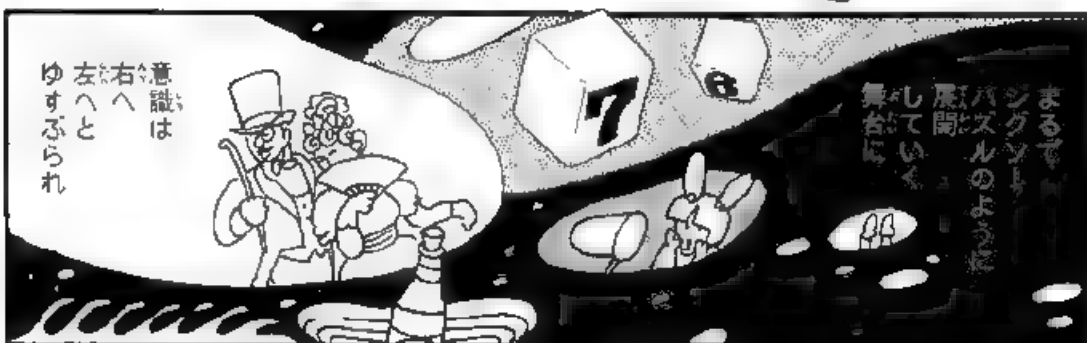
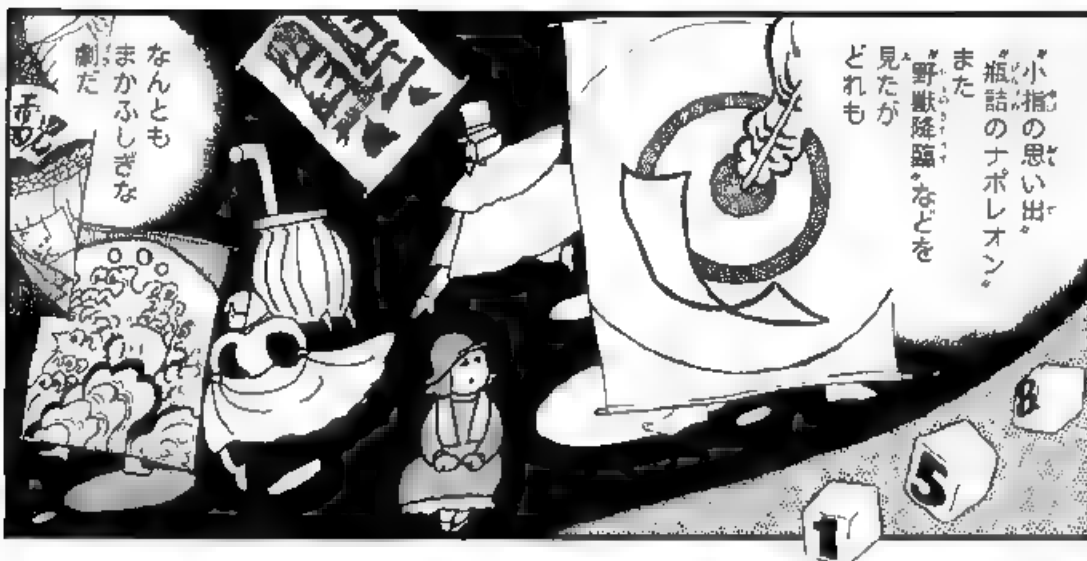
少女と
老人の
古い
骨が

いまだきあって
眠っている



この頃、
何に
凝ってる
かと
いうと







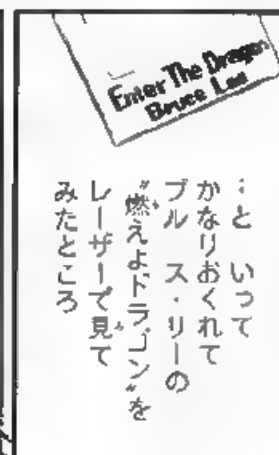
フィジカル / 85



実に
美しい

熱意を
こめた
人間の
体の動きと
いうものは







クンフーと
いうのは
格闘技
だけど
その
動きが
あま／＼に
美しいときは

激しい
舞踊を
見ているような
気分にな
ったり
する



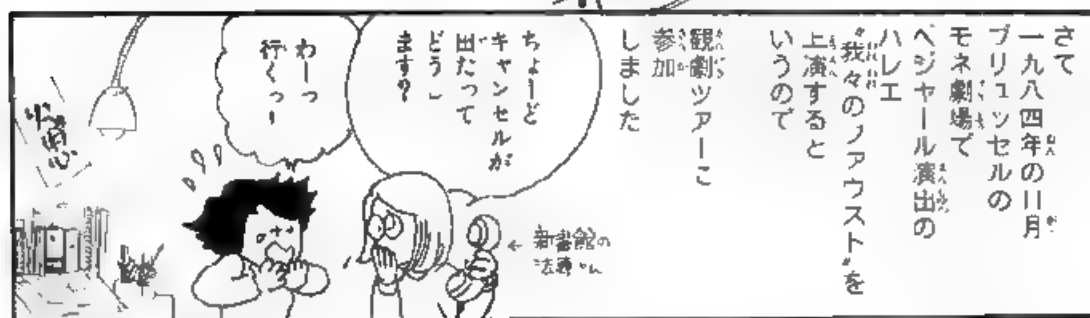


ベルギーの20世紀バレエ団の演出家

モリス・ベジャールは



エキサイティングなバレエでした



一九七八年に
20世紀ハレエ図が
日本を
訪れたとき
「ファウスト」を踊って
大好評だった
そうですが

わたしは
このとき
見るのが
はじめて



ファウストが
内なる光や愛に
目覚めようとする
シーンが
ミサ曲が
流れる



音楽は
バッハのミサ曲と
アルゼンチン・タンゴ
ファウストが
悪魔に
ひかれていくと
タンゴがはじまる

ゲーテの
フアウストの
詩文が
語られ

そう
セリフ入り
なのです
演劇的でも
オペラの的でも
バレエ的でも
ある

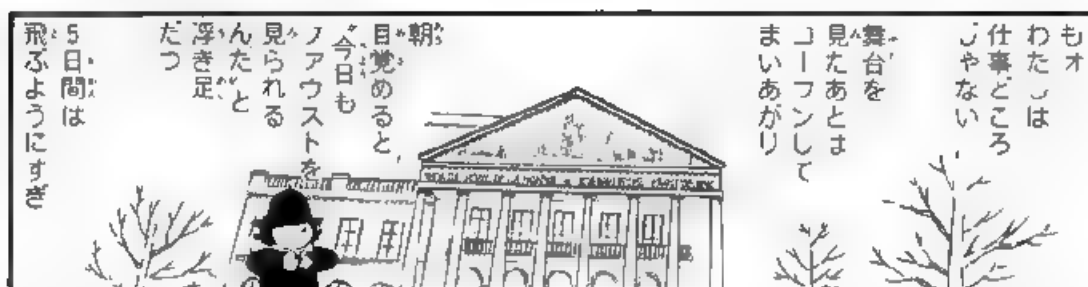
光の天使
たちは
踊り

マルガレーテは
狂い

エルフィリオンは
落下する！



フィジカル! 85



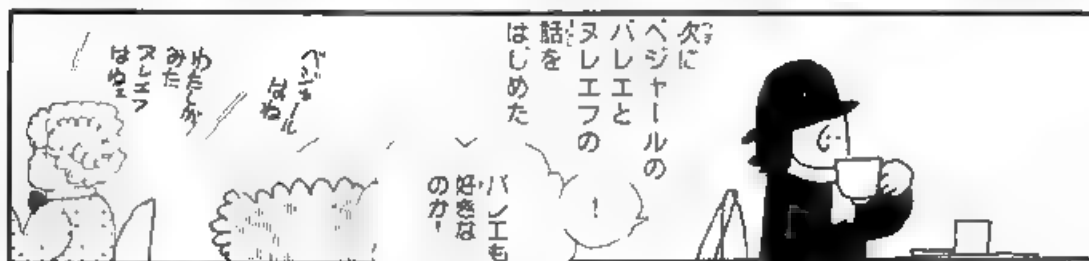
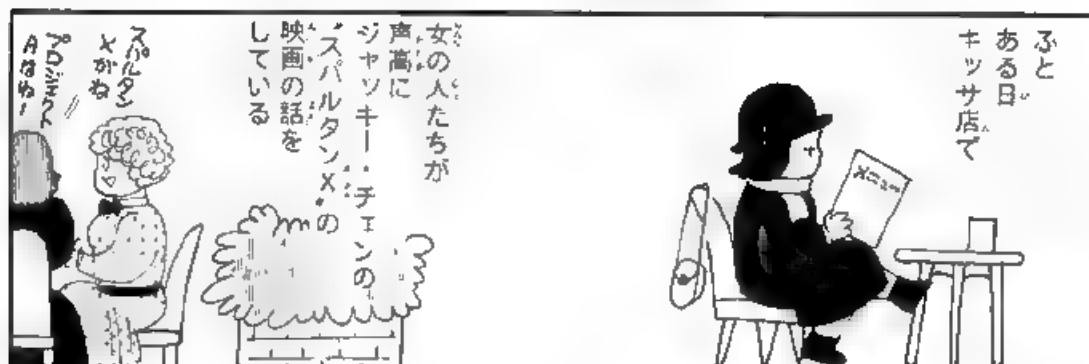
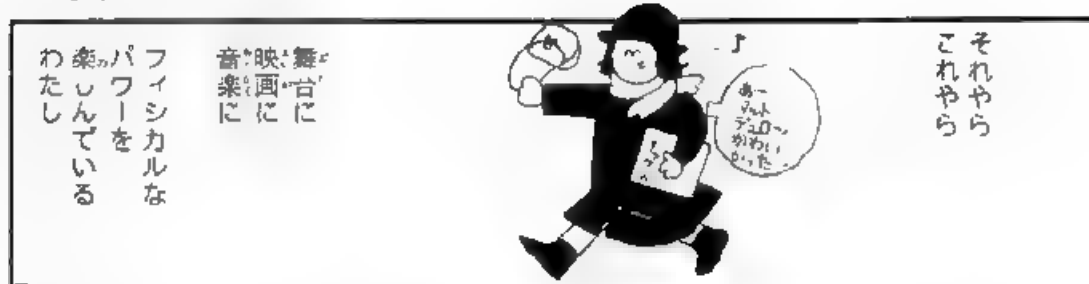


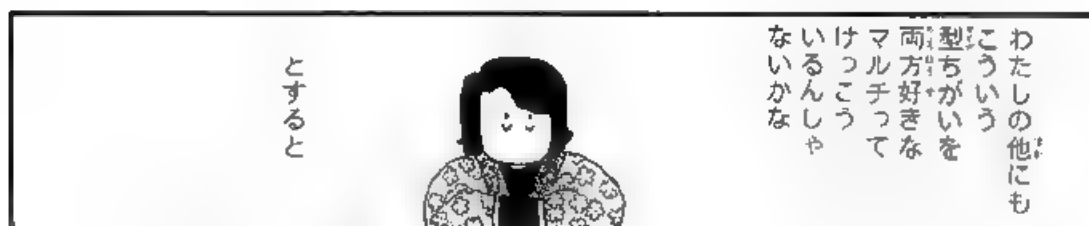
フィジカル / 85





フィジカル! 85





(おわり)
プチフラワー
1985年4月号に掲載

THE END

デクノボウ

これは
ネーム中のマンガ家
いかに（私の知る限り）
役立たずかという
お話



ネーム！

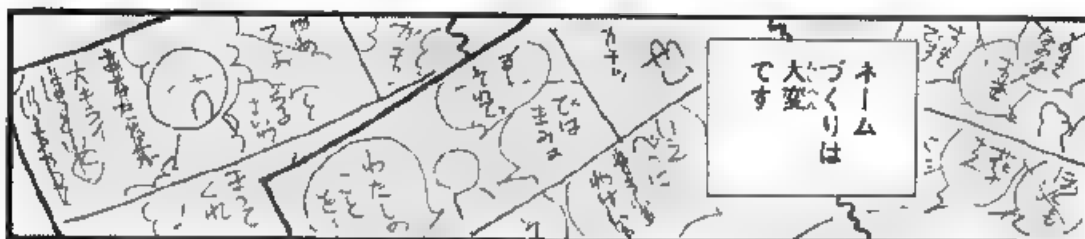
ネームとは何か？

マンガ家はネームに苦しまれる

あくまでわたくしので限りです



テクノボウ

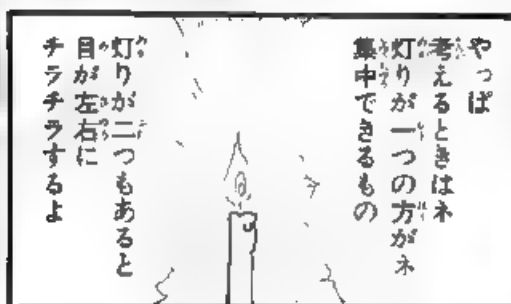




テクノボウ



かつて1981年に
美内さん
と一緒に
ロシア旅行に
行ったことが
ありました



マンガ家、
かたや
世紀の文豪、
かたや

一、緒にしちやア
いけません
が
考える苦勞は
似たような
もの

単に
出来上がる作品が
ちがうだけで
……

美内さんは
家では
気が散ると
いうので

キツサ店へ
行つて
ネームをやる
そうです

キツサ店も
いろいろ
あつて

ネームを
やるのにいい
キツサ店の
条件

[illegible]

で
わたしはと
いうと
まったく
美内さんと
同じ理由で

ネームに
なると
キッサ店へ
通いづめ
です

人がいても
他人だから
気にならない
プライベートル
場所

そこで
半分
夢遊
状態

ハギオ
さん
お電話
です

1/2 1/2

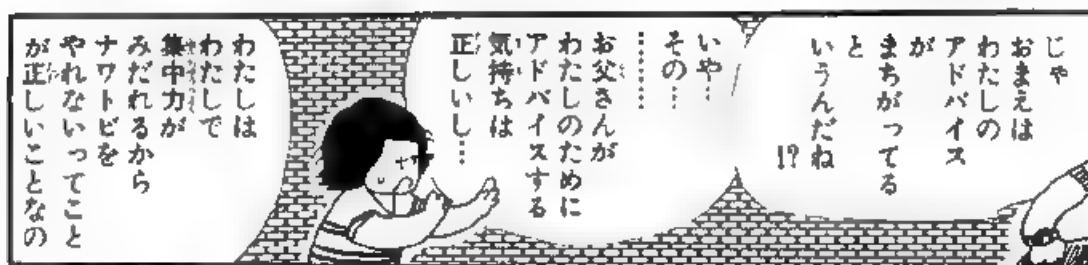
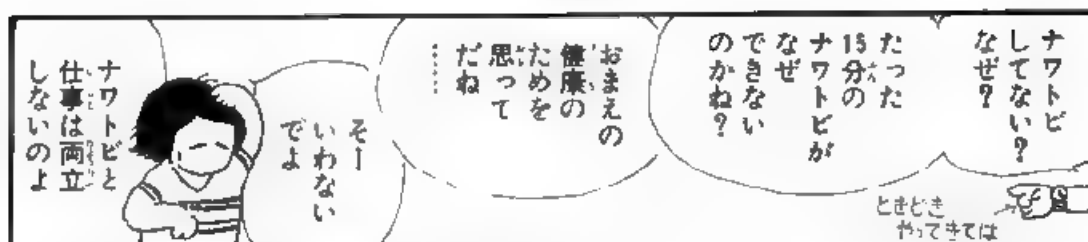
ホームを
やると

こともあつて
赤面です

西
 北
 東
 南

デクノボウ





デクノボウ





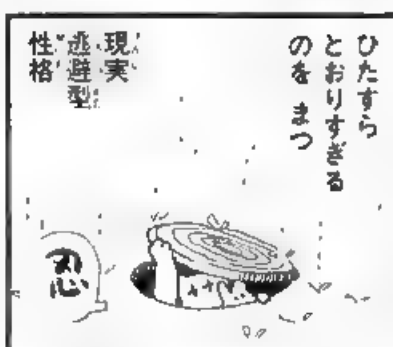
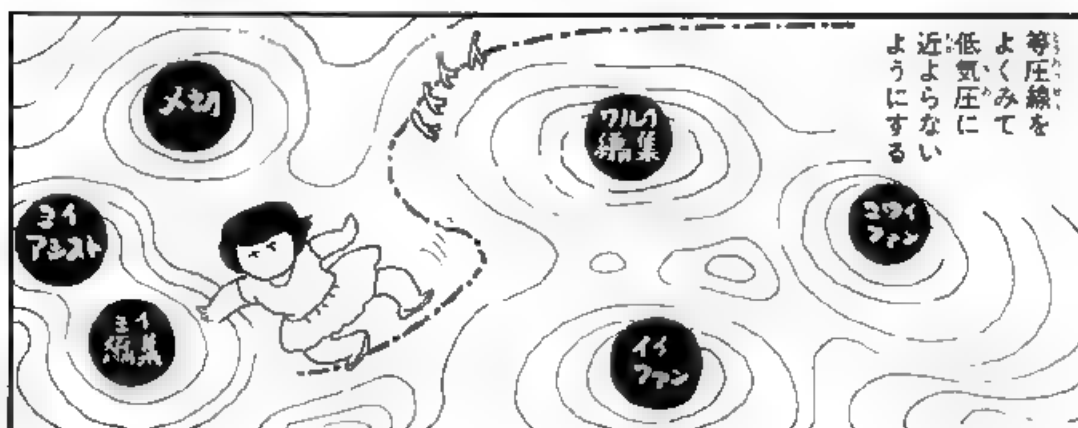
テクノボウ



出産に
 体力が
 必要な
 ことと
 作品の
 出産に
 体力
 耐力が
 必要で
 マンガ家
 を
 5年10年と
 やつてると
 肩こりや
 ケンショウ炎も
 慢性化し
 これと
 おりあい
 ながら
 体力
 かくのも



テクノボウ



集中するというのは
海に どんどん
潜水している
状態に似ています

こういう調子ときは
ふだん もぐれないくらい
深い深いところへも 一気にもぐれて

あちこちに
さがしていたネーム
望んでたどおりのエピソードを
発見できる

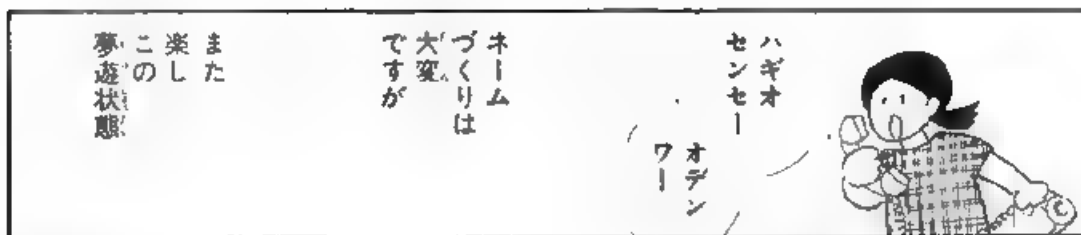
この
宝さがしの
おもしろさ

息を詰めた
一瞬をつらぬく

確かに
深くもぐるほど
思いがけない
いいものが
みつかる

この
快感！

デクノボウ



ふつうは
ハツ？と
覚めるの
だけと

3

だんだん
見えて
きます

おメメに
なにも
映ってない
でしようねえ

……だだろ？

ボクのこと聞いてた？

うちあわせ
してたんだ
編集と

3. 2. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839

ハ ア | ヘ エ

それになに？
 こういう恐ろしい非人間的な生活をしてながら
 まだ結婚したいってん
 の？
 ダメ？
 やつぱり木原センセとかトレア養老院をたてた方がいいかしら！

●イラスト・エッセイ●

ビートルズのころ

私は奇痴だった

中学のころ学校では禁じられていたバーマをかけていた友人が

「フリーズ・ミスター・ポストマン」の

EPを貸してくれた

覚えようと思ったが和音の上に和音が

フリーズの上にフリーズが

もようのように重なるそれを聞いて

胸がしめつけられるのがせいぜいだった

クラシックを愛する父は

おまえが大人になったら

若いころはくだらないグループに夢中だった

と思うだろうと言った

ビートルズは日本にやってきてテレビニュースで流したが

遠いくに行われている革命のように

家ではだれも

気にとめる人はいなかった



高校のころ
当時はめずらしい
エレキ・ギターをもっているグループと
知りあった
アマチュアのサークルで
彼らはビートルズを歌っていた
「このバックに高く流れるバイオリンが
ホラ、いいんだよな」
などと語るのて
なんと耳のいい人たちなのだろうと驚いた
友人と一緒に
「ピア・セア・アンド・エブリホエア」の中で
かすかなカステネットが鳴る音を数えた
卒業後は 別れていったが
教えてもらったビートルズは残った
いい子供でも いい生徒でも
なかった私が
学校にも家庭にも
無言で反発し
友人と読書とマンガとビートルズに
はけぐちを求めていたころ



私がアビー・ロードのLPの

マックスウェル・シルバー・ハンマーを覚えたころ

ビートルズは解散してしまった

ビートルズは永遠に続くものと信じていた
もの知らずの私は

ただボカンとするばかり

何かのまちがいだ

そのうちまた一緒になると思い続けた

そしてその後も多くのグループが

結成されたり

解散したりするのを見ていて

むしろ

あれだけの個性の集団が

よくもあんなに長く

ひとつのグループを形成していたものだ

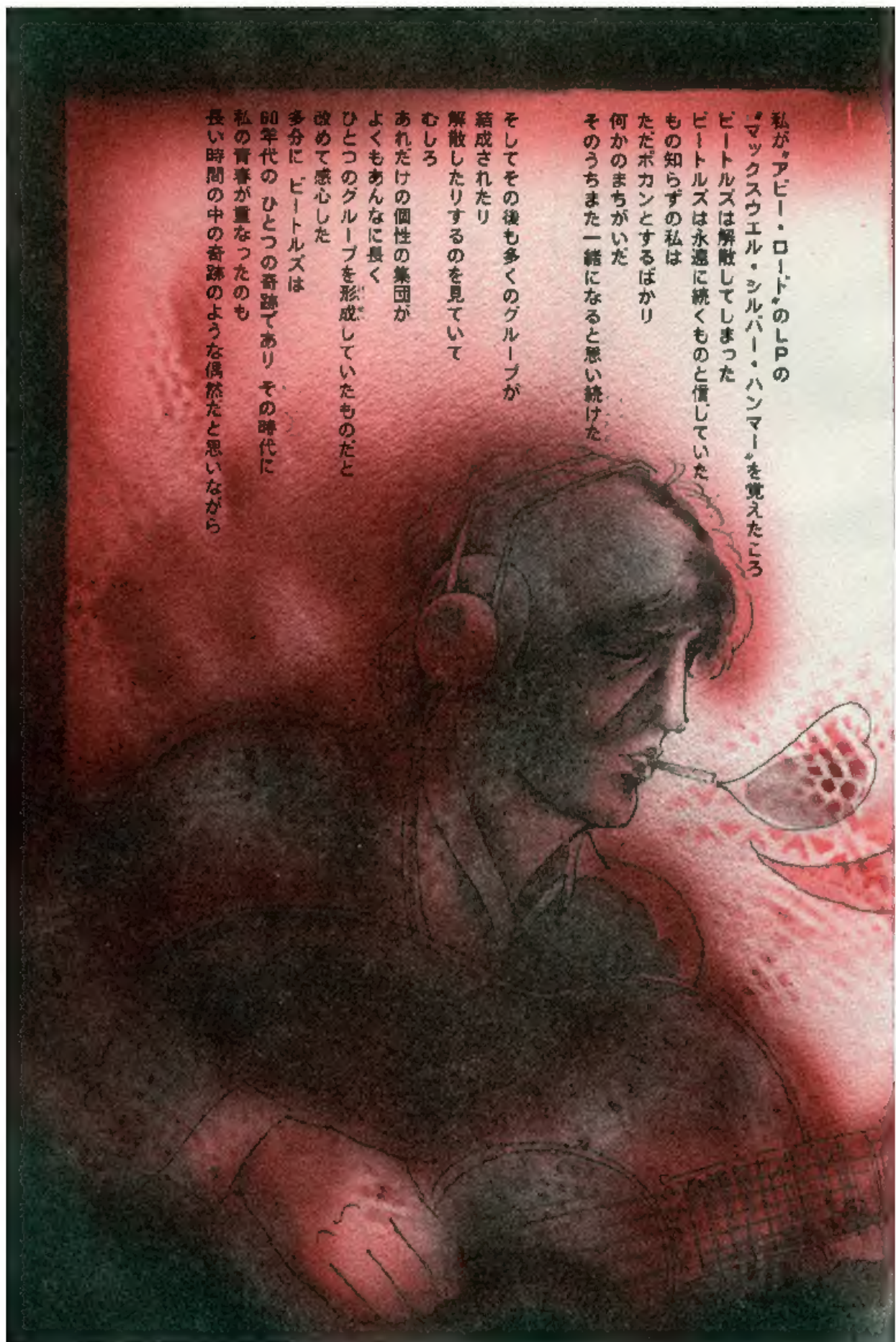
改めて感心した

多分にビートルズは

60年代のひとつの奇跡でありその時代に

私の青春が重なったのも

長い時間の中の奇跡のような偶然だと思いながら



1980年の12月8日に

ニューヨークでジョン・レノンが撃ち殺されたという

ニュースが伝わってきて

デマじゃないのと言ってるうちに

どのテレビもラジオも同じことを言いだした

街ではいたるところでビートルズが流れ

音楽はせつなかった

拓郎の歌う

ビートルズが教えてくれたを思い出して
そうだ 私もいっぱい教わったわと思った

夢中で読んだ彼らの伝記

親にないしよで見にいった

ア・ハード・デイズ・ナイト、ヘルプ、

ブレイヤーの音をひくくして真夜中

身をかめくりかえし、リボルバーを聞き続けた

確かな音楽のてこたえに酔い

こんな私だって

今にきつと なんとかなると

信じていたあのころ

